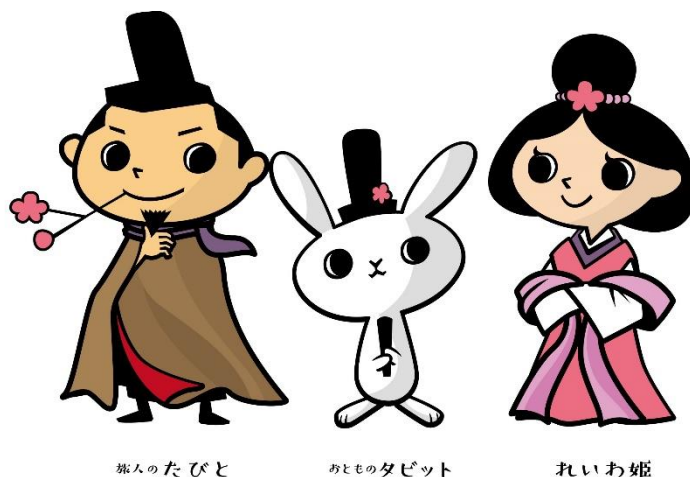


---

# 歴史と文化の環境税に関する意識調査 報告書

---



令和5年3月

太宰府市市民生活部税務課



# 目 次

## 第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査仕様と回答者属性	1
(1) 来訪者	1
(2) 市民	2
(3) 駐車場事業者	2
3. 調査項目	3
4. 調査結果利用上の説明	4

## 第 2 章 調査の結果

I 総括	5
II 観光に対する取り組み	7
1. 太宰府市の感想	7
2. 太宰府市の観光施策への意見	8
III 渋滞について	9
1. 市内の交通渋滞の度合い	9
2. 市内の交通渋滞の変化状況	11
3. 市内の交通渋滞による生活への影響の有無	14
4. 交通渋滞解消のための対策	16
IV 歴史と文化の環境税について	17
1. 歴史と文化の環境税の認知状況	17
2. 歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	18
(1) 歴史的文化遺産の保存活用	20
(2) 来訪者へのおもてなし	21
(3) 環境負荷改善（交通渋滞緩和）	22
4. 来訪者に財源を求める取り組みへの評価	23
5. 歴史と文化の環境税の今後のあり方	25
(1) 今後の継続意向	25
(2) 歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価	27
(3) 継続すべき理由	28
(4) 廃止すべき理由	29
(5) 見直すべき内容	30
6. 歴史と文化の環境税への意見	31
7. 特別徴収事務について	34



# 第 1 章 調査の概要



## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

歴史と文化の環境税は、平成15年の制度導入から20年が経過したが、その間に太宰府市の観光動向など社会情勢は変化してきた。そこで、今後の施策に反映させるため、令和2年3月に引き続き、来訪者・市民・駐車場事業者はこの税の取組み等についての考え方をたずねた。

### 2. 調査仕様と回答者属性

#### (1) 来訪者

調査対象：一時的有料駐車場利用者（納税者）

調査地点：太宰府駐車センター(天満宮大駐車場)、奥苑駐車場

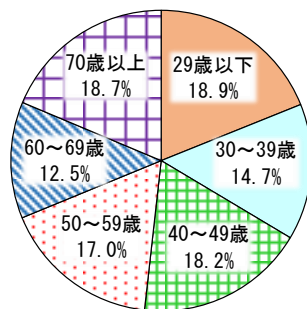
調査方法：対面調査

調査期間：令和4年11月11日(金)、11月12日(土)、11月14日(月)

回収状況：423件（平日283件、土日140件）

回答者属性

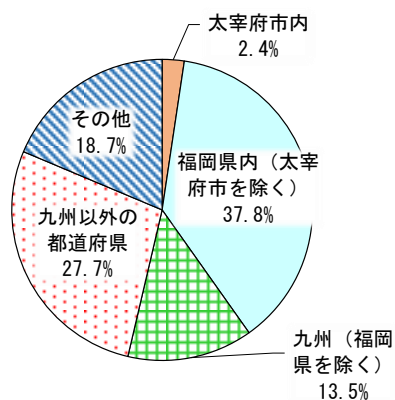
#### ① 年齢（来訪者：問1）



全体 (N=423)

	回答数 (人)
全体	423
29歳以下	80
30~39歳	62
40~49歳	77
50~59歳	72
60~69歳	53
70歳以上	79

#### ② 居住地（来訪者：問2）



全体 (N=423)

	回答数 (人)
全体	423
太宰府市内	10
福岡県内(太宰府市を除く)	160
九州(福岡県を除く)	57
九州以外の都道府県	117
その他	79

# 第1章 調査の概要

## (2) 市民

調査対象：18歳以上の太宰府市民 1,000人

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法：郵送法

調査期間：調査票発送 令和4年11月16日(水)

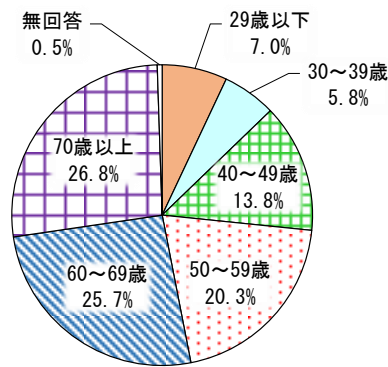
投函締切り 令和4年12月13日(火)、回収は12月26日(月)まで

※お礼ハガキ（未回答者への回答依頼を含む）を全対象者へ11月29日(火)に送付

回収状況：571件（回収率 57.1%）

回答者属性

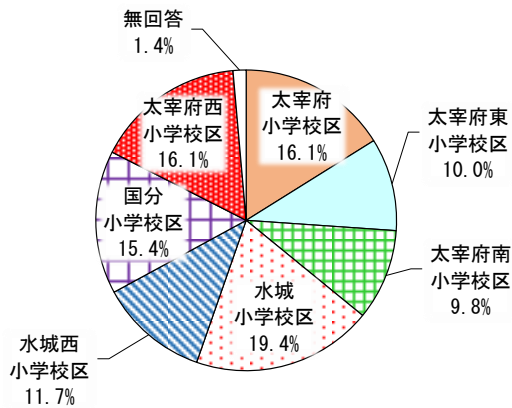
### ① 年齢（市民:問1）



全体(N=571)

	回答数 (人)
<b>全体</b>	<b>571</b>
29歳以下	40
30~39歳	33
40~49歳	79
50~59歳	116
60~69歳	147
70歳以上	153
無回答	3

### ② 小学校区（市民:問2）



全体(N=571)

	回答数 (人)
<b>全体</b>	<b>571</b>
太宰府小学校区	92
太宰府東小学校区	57
太宰府南小学校区	56
水城小学校区	111
水城西小学校区	67
国分小学校区	88
太宰府西小学校区	92
無回答	8

## (3) 駐車場事業者

調査対象：指定駐車場事業者（特別徴収義務者） 43事業者

調査方法：郵送法

調査期間：調査票配布 令和4年11月18日(金)

投函締切り 令和4年12月6日(火)

※お礼状（未回答者への回答依頼含む）を全対象者へ 11月30日(水)に送付

回収状況：39件（回収率 90.7%）



## 3. 調査項目

分類	設問(来訪者)		設問(市民)		設問(駐車場事業者)		
あなた自身について	問1	年齢	問1	年齢			
	問2	住所(市内、県内、県外)	問2	住まい(小学校区)			
観光に対する取り組み	問3	太宰府市の感想					
	問4	太宰府市の観光施策への意見					
歴史と文化の環境税について	問5	歴史と文化の環境税の認知状況	問3	歴史と文化の環境税の認知状況			
	問6	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	問4	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	問1	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	
	問7	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)	問5	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)	問2	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)	
	問8	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)	問6	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)	問3	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)	
	問9	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)	問7	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)	問4	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)	
	問10	来訪者に財源を求める取り組みへの評価	問8	来訪者に財源を求める取り組みへの評価	問5	来訪者に財源を求める取り組みへの評価	
					問6	特別徴収事務について	
	問11	歴史と文化の環境税の今後の継続意向	問9	歴史と文化の環境税の今後の継続意向	問7	歴史と文化の環境税の今後の継続意向	
	問12	継続すべき理由	問10	継続すべき理由	問8	継続すべき理由	
	問13	廃止すべき理由	問11	廃止すべき理由	問9	廃止すべき理由	
	問14	見直すべき内容	問12	見直すべき内容	問10	見直すべき内容	
	問15	歴史と文化の環境税への意見	問13	歴史と文化の環境税への意見	問11	歴史と文化の環境税への意見	
	渋滞について			問14	市内の交通渋滞の度合い		
				問15	市内の交通渋滞の変化状況		
				問16	市内の交通渋滞による生活への影響の有無		
		問17	交通渋滞解消のための対策				

#### 4. 調査結果利用上の説明

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合がある。
- (5) 文中の選択肢の表記は「」としている。
- (6) 二つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の基数（標本数）の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答比率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。
- (7) 駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載としている。また来訪者および市民とのパーセンテージでの比較は行わない。
- (8) P20～P23、P27における「平均評定値」とは、「大いに評価する×4点」「やや評価する×2点」「あまり評価しない×-2点」「全く評価しない×-4点」で求めた合計を「わからない」「無回答」をのぞいた標本数で除して算出している。-4～4の数値で表され、値が4に近づくほど評価は高く、-4に近づくほど評価が低くなる。

## 第2章 調査の結果



## 第2章 調査の結果

### I 総括

#### 1 観光に関する取り組み《来訪者》

来訪者の太宰府市の感想についてみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」（70.7%）が最も高く、次いで「自然環境や景色が守られていると感じた」（57.7%）、「観光案内や道路が整備されていると感じた」（31.7%）の順となっている。

#### 2 太宰府市の渋滞について《市民》

市民の市内の交通渋滞の度合いについてみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は88.6%となっている。

過去調査結果と比較すると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は前回調査結果より2.7ポイント増加しているが、「いつも感じる」は3.2ポイント減少している。

市民の市内の交通渋滞の変化状況についてみると、「変わらない」（56.7%）が最も高く、次いで「悪化しつつある」（23.1%）の順となっている。

過去調査結果と比較すると、「変わらない」は前回調査結果より10.2ポイント増加しているが、「悪化しつつある」は11.8ポイント減少している。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無についてみると、「ある」が51.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（26.4%）、「ない」（19.1%）の順となっている。

過去調査結果と比較すると、ほぼ同様の割合となっている。

#### 3 歴史と文化の環境税について《共通》

歴史と文化の環境税の認知状況についてみると、「知っていた」は来訪者が16.8%、市民が55.3%となっている。

歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況についてみると、「知っていた」は来訪者が13.5%、市民が31.3%となっている。駐車場事業者では、39件中34件であった。

歴史と文化の環境税の使いみちで「歴史的文化遗产の保存活用」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が92.2%、市民が86.9%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。駐車場事業者では、39件中31件であった。

歴史と文化の環境税の使いみちで「来訪者へのおもてなし」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が90.5%、市民が82.9%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。駐車場事業者では、39件中31件であった。

歴史と文化の環境税の使いみちで「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が82.2%、市民が85.5%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。駐車場事業者では、39件中31件であった。

来訪者に財源を求める取り組みへの評価についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が87.0%、市民が86.7%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。駐車場事業者では、39件中21件であった。

## 第2章 調査の結果

歴史と文化の環境税の今後の継続意向についてみると、「継続すべきである」は来訪者が77.3%、市民が65.0%となっているのに対し、駐車場事業者では、39件中11件と低くなっている。

歴史と文化の環境税を継続すべき理由についてみると、来訪者、市民共に「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」(来訪者87.8%、市民72.8%)が最も高くなっており、次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」(来訪者62.4%、市民64.2%)、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」(来訪者32.1%、市民61.5%)の順となっている。駐車場事業者は、「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」と「年始の臨時駐車場設置など交通対策の整備によって渋滞が緩和される」(共に11件中8件)が最も多くなっており、次いで「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」(共に同7件)の順となっている。

また、「廃止すべきである」は、来訪者が0.9%、市民が3.7%となっているのに対し、駐車場事業者は39件中15件と割合が多くなっており、来訪者・市民との差が顕著に表れている。

歴史と文化の環境税を廃止すべき理由についてみると、来訪者は「来訪者に課税することに反対である」(4件中3件)が最も多く、次いで「税額が高すぎる」(同2件)の順となっている。市民は「課税の理由がわかりづらい」(21件中8件)が最も多く、次いで「使いみちによる効果が見えづらい」(同7件)の順となっている。また、駐車場事業者は、「来訪者に課税することに反対である」(15件中10件)が最も多くなっている。

歴史と文化の環境税の見直すべき内容についてみると、来訪者、市民共に「税の使いみちを見直す」(来訪者55.6%、市民62.0%)が最も高く、次いで「税額を下げる」(来訪者34.4%、市民23.9%)の順となっている。また、駐車場事業者は「税額を下げる」(13件中6件)が最も多く、次いで「駐車台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」(同5件)の順となっている。

駐車場事業者が「歴史と文化の環境税」の特別徴収事務(特別徴収)についてどのように思うかについてみると、「ほとんど問題ない」(39件中19件)が最も多くなっており、次いで「営業に影響がある」(同9件)の順となっている。

Ⅱ 観光に対する取り組み

1. 太宰府市の感想

◆あなたは太宰府に来て、どのような感想をもちましたか。(来訪者：問3)

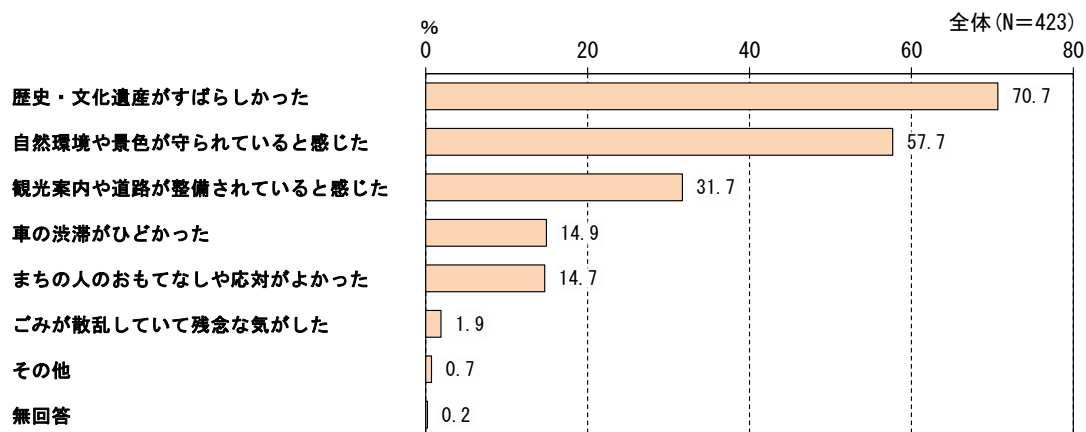
来訪者の太宰府市の感想についてみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」(70.7%)が最も高く、次いで「自然環境や景色が守られていると感じた」(57.7%)、「観光案内や道路が整備されていると感じた」(31.7%)の順となっている。

年齢別にみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」は60～69歳(83.0%)が最も高く、次いで70歳以上(78.5%)の順となっており、60歳以上は8割前後を占めている。

居住地別にみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」は九州以外の都道府県(72.6%)が最も高く、「自然環境や景色が守られていると感じた」は福岡県内(太宰府市を除く)(63.1%)が6割を超えており、他の居住地より高くなっている。なお、「車の渋滞がひどかった」は、九州(福岡県を除く)(26.3%)が最も高くなっている。

※太宰府市内はサンプル数が少ないため分析からは除外する。

太宰府市の感想



太宰府市の感想 (年齢別・居住地別)

		サンプル数	歴史・文化遺産がすばらしかった (%)	自然環境や景色が守られていると感じた (%)	観光案内や道路が整備されていると感じた (%)	車の渋滞がひどかった (%)	まちの人のおもてなしや対応がよかった (%)	ごみが散乱していて残念な気がした (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		423	70.7	57.7	31.7	14.9	14.7	1.9	0.7	0.2
年齢別	29歳以下	80	62.5	58.8	36.3	8.8	25.0	-	-	-
	30～39歳	62	66.1	56.5	29.0	22.6	9.7	-	1.6	-
	40～49歳	77	70.1	66.2	32.5	13.0	9.1	-	-	1.3
	50～59歳	72	66.7	62.5	30.6	15.3	12.5	2.8	-	-
	60～69歳	53	83.0	54.7	37.7	17.0	11.3	5.7	-	-
	70歳以上	79	78.5	46.8	25.3	15.2	17.7	3.8	2.5	-
居住地別	太宰府市内	10	50.0	40.0	-	50.0	-	10.0	-	-
	福岡県内(太宰府市を除く)	160	70.6	63.1	35.0	16.3	16.3	1.3	0.6	-
	九州(福岡県を除く)	57	68.4	54.4	26.3	26.3	17.5	5.3	-	-
	九州以外の都道府県	117	72.6	47.0	34.2	6.8	11.1	1.7	0.9	0.9
	その他	79	72.2	67.1	29.1	11.4	16.5	-	1.3	-

2. 太宰府市の観光施策への意見

◆太宰府市の観光施策について、もっと充実させたほうが良いと思う取り組みや、縮小・削減すべき無駄だと感じたことなど、お気づきの点がありましたらお聞かせください。(来訪者：問4)

太宰府市の観光施策について全体で145件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

太宰府市の観光施策への意見(主な意見)	年齢	居住地
<b>◆交通環境の改善など(46件)</b>		
渋滞が酷いので、道路の拡幅してほしい。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
車の渋滞をどうにかしてほしい。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
車の渋滞は仕方がないと思っているが、どうにかならないものなのか。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
歩行者の歩くスペースがもっと広がったら良いと思う。	30～39歳	その他
何かあった時、車の渋滞が酷いので、逃げる場所がないので困る。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
土日の交通規制。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
対向車のスピードが速いので、道幅が少し狭く感じました。道路の拡張ができるのであればしてほしい。	40～49歳	九州以外の都道府県
インターを降りてからの標識をもっとわかりやすくしてほしい。ナビで来れば簡単なのかもしれないが。	50～59歳	その他
道路標示が少ないと、特に初めての人は迷うと思う。観光場所の看板を大きくして、矢印を使用してわかりやすく表示してほしい。	29歳以下	九州以外の都道府県
<b>◆観光資源の整備など(25件)</b>		
観光施策をもっと充実させた方が良いと思う。	40～49歳	九州以外の都道府県
有名な所なので、縮小や削減をする所はないと思う。	29歳以下	その他
自然の景色が素晴らしいと思った。	40～49歳	九州以外の都道府県
樹木の名前がわからないので、プレートなどに明記してほしい。	30～39歳	その他
参道には店舗が多いので、買い物は楽しかった。	50～59歳	九州(福岡県を除く)
四季によって、いつでも観光地の良さを出してもらいたい。	70歳以上	九州以外の都道府県
買い食いをしていても、ゴミがなかった。	29歳以下	九州以外の都道府県
<b>◆観光地の施設整備など(46件)</b>		
以前と比べて、トイレはきれいになったと思う。	40～49歳	九州(福岡県を除く)
参道にゴミ箱を置いてほしい。皆さん食べ歩きの人が多いのに、捨てる場所がないので困っている人が目立つ。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
直す場所だけ保護の募金箱を置かなくても、全体的に置いて良いと思う。	30～39歳	九州以外の都道府県
トイレの数を増やしてほしい。中にないので、きれいな店で借りている。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
街並み、景観にとても風情があって、心がなごむ素敵な場所でした。	29歳以下	その他
今日初めて訪れたのですが、景観がとても素敵でした。	30～39歳	その他
電子マネーが使える所を増やしてほしい。	29歳以下	その他
家族が車イスなので、人が多くて通りづらい。	50～59歳	九州(福岡県を除く)
<b>◆太宰府市の観光活性化などについて(3件)</b>		
観光資源を有効にさせる施策をしっかりとってほしい。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
対応がとても素晴らしい。福岡の人は気持ちがやさしくて親切。	70歳以上	その他
<b>◆その他(25件)</b>		
現在のままで良いと思う。	29歳以下	九州以外の都道府県
今のままで十分だと思う。	50～59歳	九州以外の都道府県
守ってほしい。	60～69歳	その他
十分楽しめている。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
このままで良い。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
このまま頑張っていてほしいと思う。皆さんがたくさん来訪してくれることを願っている。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)



III 渋滞について

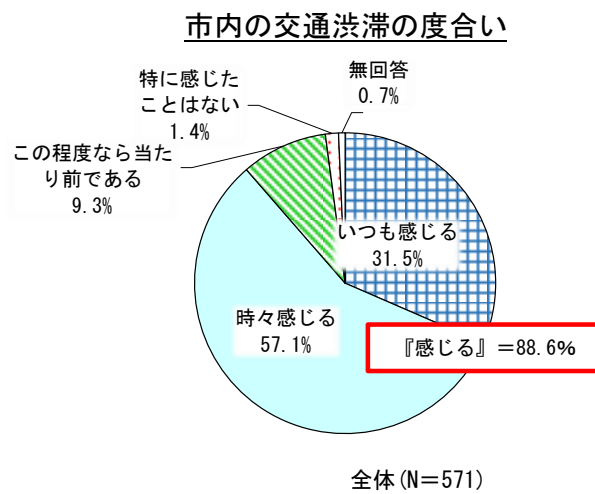
1. 市内の交通渋滞の度合い

◆太宰府市内で生活する中で、交通渋滞を感じることはありますか。(市民：問 14)

市民の市内の交通渋滞の度合いについてみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は88.6%となっている。

年齢別にみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は29歳以下（92.5%）が最も高く、次いで60～69歳（91.2%）の順となっている。

小学校区別にみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は太宰府東小学校区（91.2%）が最も高くなっており、太宰府西小学校区（86.9%）が最も低くなっている。



市内の交通渋滞の度合い（年齢別・小学校区別）

単位：%

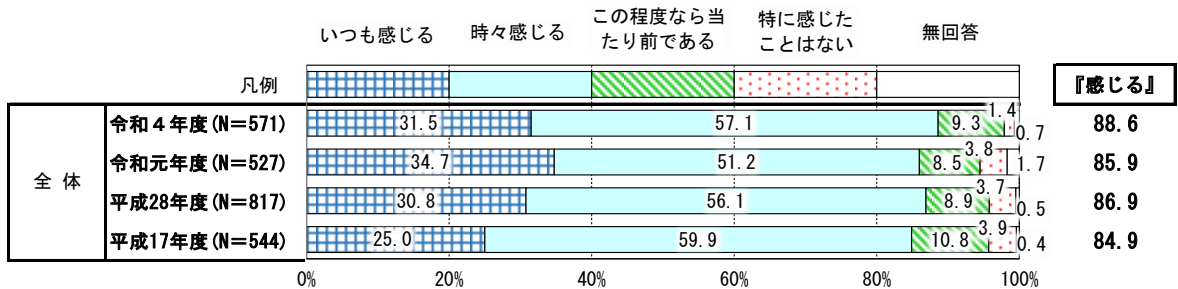
	サンプル数	いつも感じる	時々感じる	この程度なら当たり前である	特に感じたことはない	無回答	『感じる』	
全体	571	31.5	57.1	9.3	1.4	0.7	88.6	
年齢別	29歳以下	40	32.5	60.0	7.5	-	-	92.5
	30～39歳	33	24.2	60.6	12.1	3.0	-	84.8
	40～49歳	79	36.7	53.2	8.9	1.3	-	89.9
	50～59歳	116	28.4	60.3	10.3	-	0.9	88.7
	60～69歳	147	35.4	55.8	6.8	1.4	0.7	91.2
	70歳以上	153	28.1	56.9	11.1	2.6	1.3	85.0
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	92	57.6	31.5	8.7	1.1	1.1	89.1
	太宰府東小学校区	57	22.8	68.4	8.8	-	-	91.2
	太宰府南小学校区	56	19.6	69.6	8.9	1.8	-	89.2
	水城小学校区	111	31.5	56.8	10.8	0.9	-	88.3
	水城西小学校区	67	19.4	68.7	9.0	3.0	-	88.1
	国分小学校区	88	25.0	62.5	9.1	1.1	2.3	87.5
	太宰府西小学校区	92	30.4	56.5	9.8	2.2	1.1	86.9
	無回答	8	62.5	37.5	-	-	-	100.0

## 第2章 調査の結果

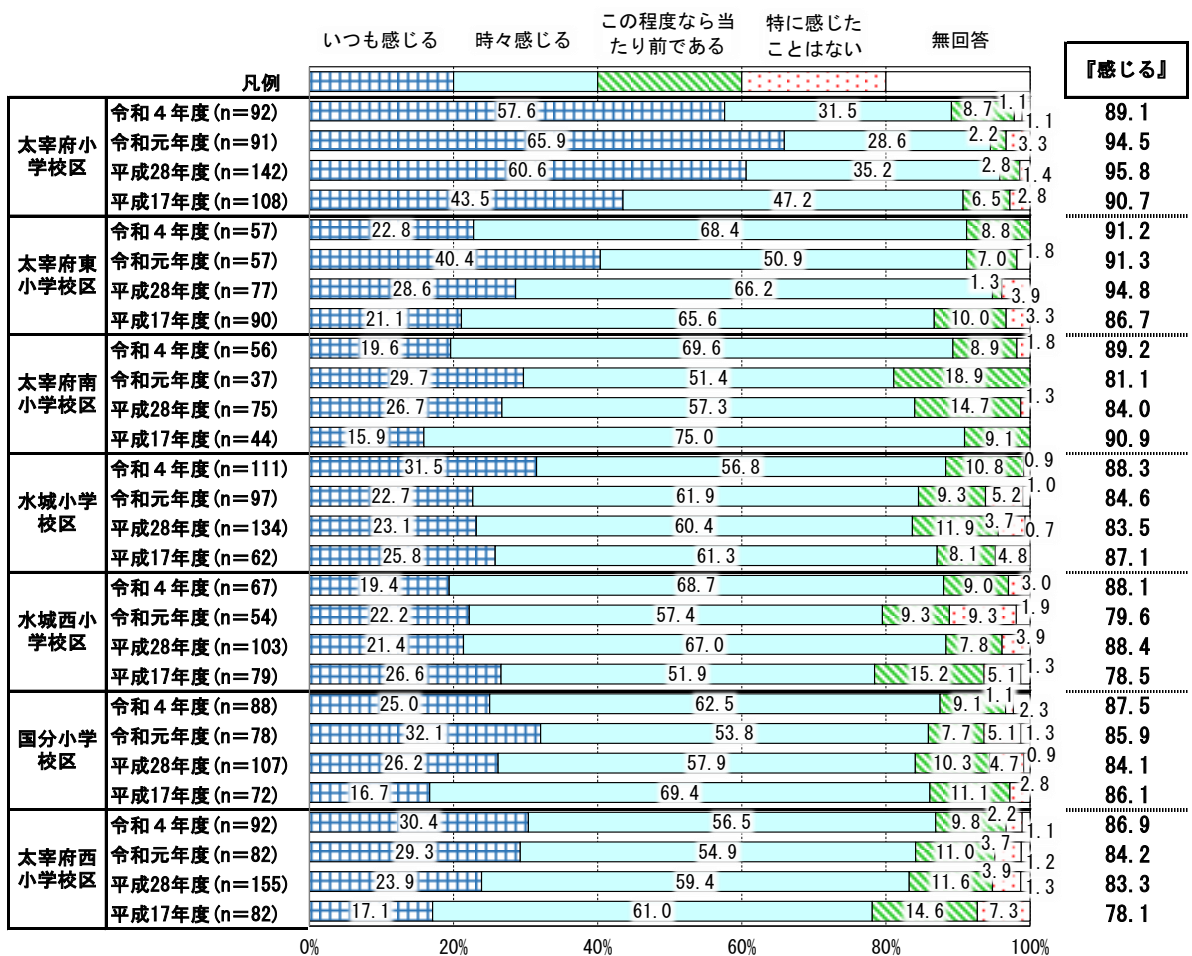
過去調査結果と比較すると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は前回調査結果より 2.7 ポイント増加しているが、「いつも感じる」は 3.2 ポイント減少している。

小学校区別にみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は太宰府東小学校区（91.2%）が最も高くなっており、7 校区のうち 5 校区が前回調査結果より増加している。また、太宰府小学校区では『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）が前回調査結果より 5.4 ポイント減少している。

### 市内の交通渋滞の度合い（時系列比較）



### 市内の交通渋滞の度合い（小学校区別時系列比較）



2. 市内の交通渋滞の変化状況

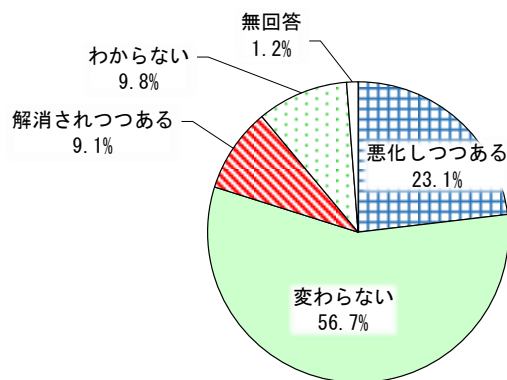
◆ここ2、3年、市内の交通渋滞の程度はどのように変化していると思いますか。(市民：問15)

市民の市内の交通渋滞の変化状況についてみると、「変わらない」(56.7%)が最も高く、次いで「悪化しつつある」(23.1%)の順となっている。

年齢別にみると、「変わらない」は50～59歳(62.9%)が、「悪化しつつある」は70歳以上(27.5%)が、それぞれ他の年齢より高くなっている。

小学校区別にみると、「変わらない」は国分小学校区(61.4%)が、「悪化しつつある」は太宰府小学校区(34.8%)が、それぞれ他の小学校区より高くなっている。

市内の交通渋滞の変化状況



全体(N=571)

市内の交通渋滞の変化状況(年齢別・小学校区別)

単位：%

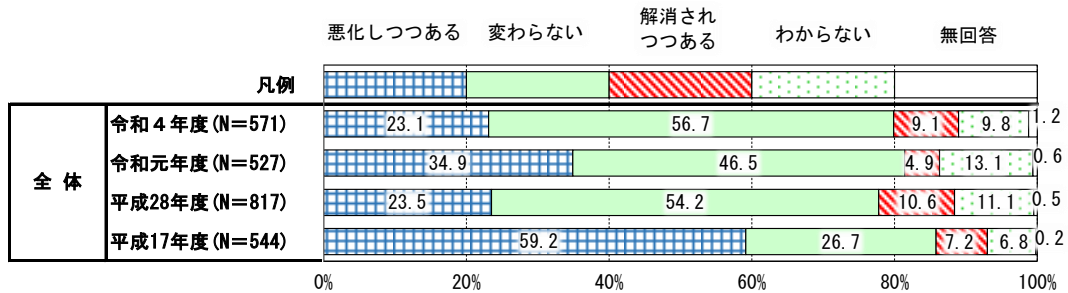
	サンプル数	悪化しつつある	変わらない	解消されつつある	わからない	無回答	
全体	571	23.1	56.7	9.1	9.8	1.2	
年齢別	29歳以下	25.0	40.0	7.5	27.5	-	
	30～39歳	33	12.1	60.6	9.1	18.2	-
	40～49歳	79	16.5	62.0	10.1	10.1	1.3
	50～59歳	116	20.7	62.9	8.6	6.9	0.9
	60～69歳	147	25.9	55.8	9.5	6.8	2.0
	70歳以上	153	27.5	54.2	8.5	8.5	1.3
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	92	34.8	52.2	6.5	6.5	-
	太宰府東小学校区	57	24.6	59.6	7.0	7.0	1.8
	太宰府南小学校区	56	25.0	51.8	12.5	8.9	1.8
	水城小学校区	111	16.2	58.6	8.1	15.3	1.8
	水城西小学校区	67	22.4	58.2	10.4	7.5	1.5
	国分小学校区	88	13.6	61.4	17.0	6.8	1.1
	太宰府西小学校区	92	28.3	54.3	3.3	13.0	1.1
	無回答	8	12.5	62.5	12.5	12.5	-

## 第2章 調査の結果

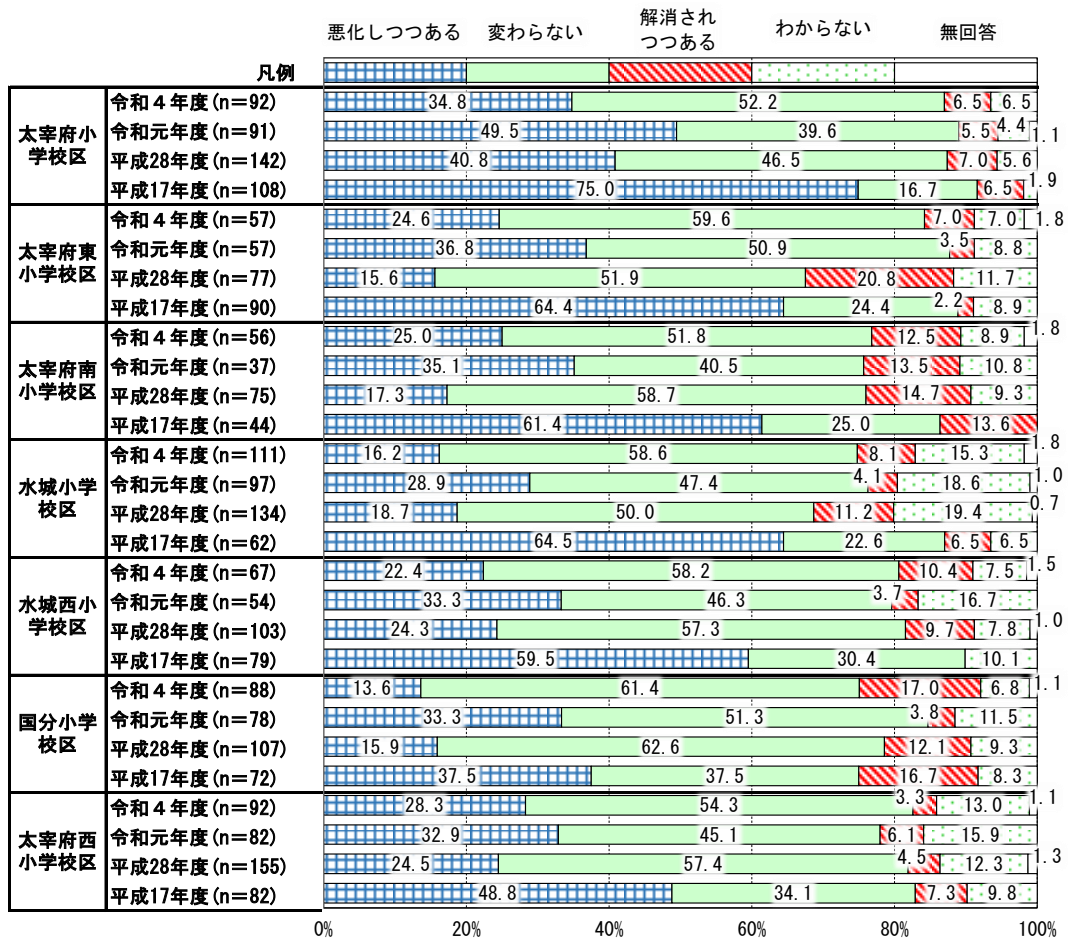
過去調査結果と比較すると、「変わらない」は前回調査結果より 10.2 ポイント増加しており、「悪化しつつある」は 11.8 ポイント減少している。

小学校区別にみると、「変わらない」は、すべての小学校区において前回調査結果より増加しており、特に太宰府小学校区では 12.6 ポイント増加している。また、「悪化しつつある」は、すべての小学校区において前回調査結果より減少しており、特に太宰府小学校区では 14.7 ポイント減少している。

### 市内の交通渋滞の変化状況（時系列比較）



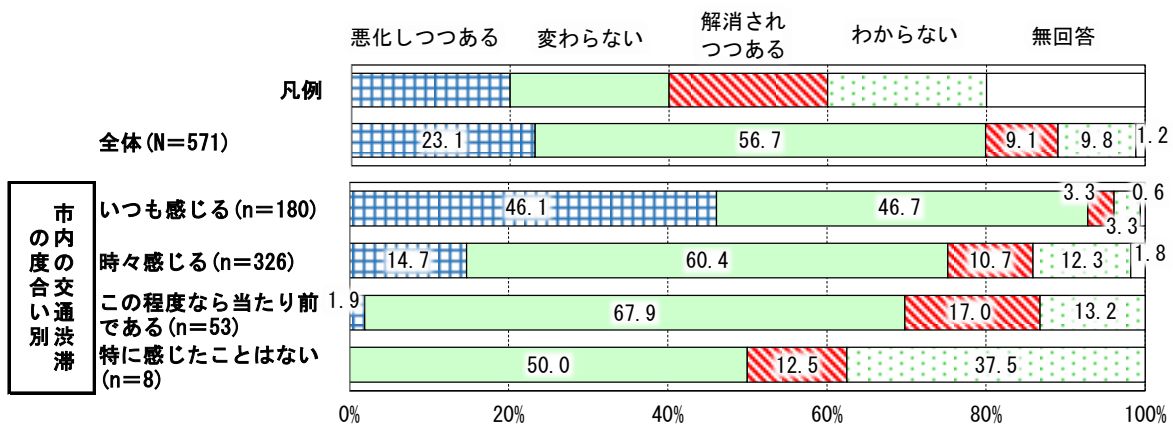
### 市内の交通渋滞の変化状況（小学校区時系列比較）



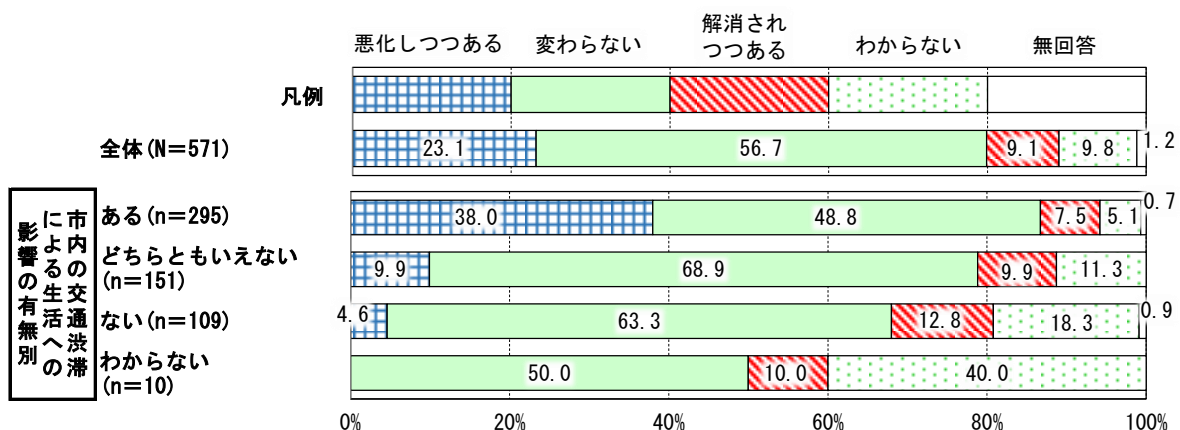
市内の交通渋滞の度合い別にみると、「変わらない」と回答した人は、この程度なら当たり前であると回答した人（67.9%）が最も高くなっており、次いで渋滞を時々感じると回答した人（60.4%）の順となっている。また、「悪化しつつある」と回答した人は、渋滞をいつも感じると回答した人（46.1%）が最も高くなっており、次いで渋滞を時々感じると回答した人（14.7%）の順となっている。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無別についてみると、「変わらない」と回答した人は、どちらともいえないと回答した人（68.9%）が最も高くなっており、次いで生活への影響がないと回答した人（63.3%）の順となっている。また「悪化しつつある」と回答した人は、生活への影響があると回答した人（38.0%）が最も高くなっており、次いでどちらともいえないと回答した人（9.9%）の順となっている。

市内の交通渋滞の変化状況（市内の交通渋滞の度合い別）



市内の交通渋滞の変化状況（市内の交通渋滞による生活への影響の有無別）



3. 市内の交通渋滞による生活への影響の有無

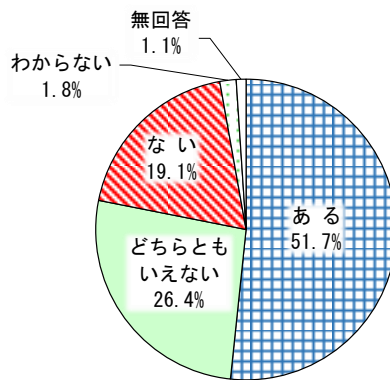
◆多くの観光客が自動車やバスを利用して訪れていますが、あなたは、観光客による交通渋滞で、生活上や業務上の支障を感じることはありますか。(市民：問16)

市内の交通渋滞による生活への影響の有無についてみると、「ある」が51.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(26.4%)、「ない」(19.1%)の順となっている。

年齢別にみると、すべての年齢層で「ある」が最も高くなっており、次いで、「どちらともいえない」、「ない」の順となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「ある」が最も高くなっており、太宰府小学校区では「ある」が75.0%と7割を超え、他の小学校区より高くなっている。次いで、太宰府南小学校区を除いた校区では「どちらともいえない」の順となっている。なお、太宰府南小学校区では「ない」(26.8%)、「どちらともいえない」(19.6%)の順となっている。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無



全体 (N=571)

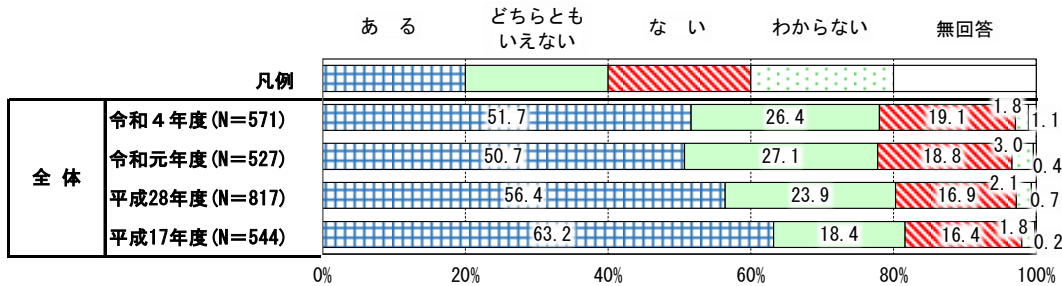
市内の交通渋滞による生活への影響の有無 (年齢別・小学校区別)

		単位：%					
		サンプル数	ある	どちらともいえない	ない	わからない	無回答
全 体		571	51.7	26.4	19.1	1.8	1.1
年 齢 別	29歳以下	40	50.0	30.0	12.5	7.5	-
	30~39歳	33	45.5	42.4	9.1	3.0	-
	40~49歳	79	55.7	22.8	16.5	2.5	2.5
	50~59歳	116	53.4	27.6	19.0	-	-
	60~69歳	147	55.1	24.5	17.7	0.7	2.0
	70歳以上	153	46.4	25.5	25.5	2.0	0.7
	無回答	3	66.7	-	33.3	-	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	92	75.0	19.6	4.3	1.1	-
	太宰府東小学校区	57	54.4	26.3	17.5	-	1.8
	太宰府南小学校区	56	51.8	19.6	26.8	1.8	-
	水城小学校区	111	45.0	25.2	23.4	4.5	1.8
	水城西小学校区	67	37.3	34.3	25.4	1.5	1.5
	国分小学校区	88	52.3	30.7	13.6	2.3	1.1
	太宰府西小学校区	92	44.6	29.3	25.0	-	1.1
	無回答	8	50.0	25.0	25.0	-	-

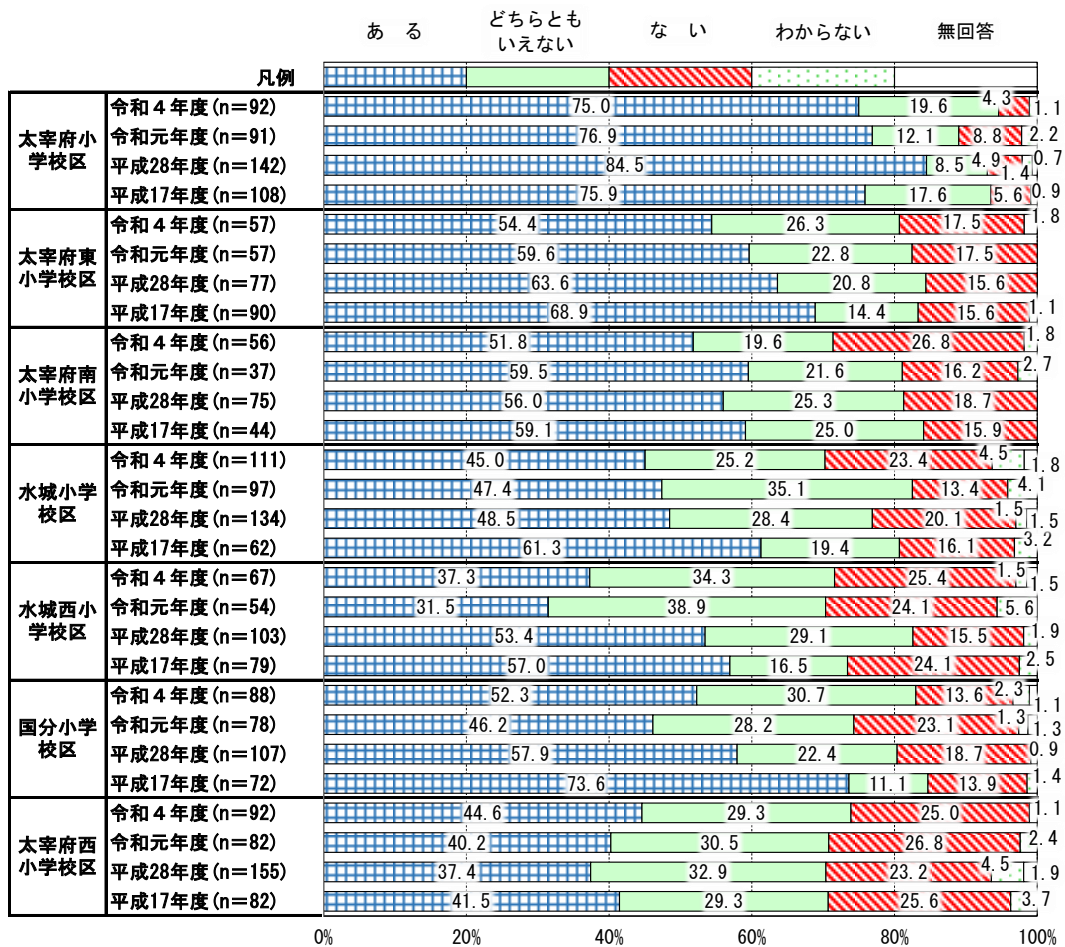
過去調査結果と比較すると、「ある」と「ない」は前回調査結果より増加しており、「どちらともいえない」は0.7ポイント減少している。

小学校区別にみると、「ある」は、前回調査結果より7校区のうち3校区が増加しており、4校区が減少している。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無（時系列比較）



市内の交通渋滞による生活への影響の有無（小学校区別時系列比較）



4. 交通渋滞解消のための対策

◆交通渋滞解消のために今後、どのような対策をとったらよいと考えますか。(市民：問17)

太宰府市内の交通渋滞解消策について、市民から全体で321件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

交通渋滞解消のための対策(主な意見)	年齢	小学校区
<b>◆公共交通機関利用やパークアンドライドの促進など(77件)</b>		
水城小や学院中、市役所を利用したのパーク&ライドを行う。市内巡回バス、巡回バスなどができないか。まほろば号の有効活用でも良いかもしれない。	50～59歳	水城小学校区
まほろば号は市民の足でもあり、便によっては観光客の移動手段として大いに活用されていると思います。利用が増えるよう、ルートや便数などを適宜見直してもらえようお願いします。	50～59歳	水城西小学校区
自家用車による天満宮・国立博物館へのアクセスは禁止して、大きな駐車場を確保し、シャトルバス方式にしたらどうですか。せめて土日祝日は何らかの対策してほしいです。もちろん年末年始も迷惑しています。	60～69歳	太宰府小学校区
年末年始は公共機関を使用するようPRし、JRや西鉄二日市駅からの臨時バス(有料)等の工夫。	60～69歳	太宰府東小学校区
大きな道路の改善ができないのであれば、天満宮周辺の渋滞は電車を利用するとお得など、車以外の利用を促進する対策を取れたら少しは解消されるのではないかと。	40～49歳	国分小学校区
西鉄電車に太宰府線を増便してもらい、公共交通期間での来訪を促す。	60～69歳	水城小学校区
観光バス「旅人」について、福岡空港の国内線にも乗降場を設けて本数を増やせば、一定のレンタカー数を減らすことができると思います。また、観光客だけでなく市民も脱車できるよう、コミュニティバスの充実やカーシェアスポットの導入が必要だと思います。	30～39歳	水城小学校区
<b>◆道路や駐車場の新設・拡充、渋滞情報配信など利便性向上(142件)</b>		
国道3号線、高雄交差点を立体交差にする。ゆめタウン筑紫野横の交差点のように高架にすると、渋滞が少なくなる。	70歳以上	太宰府南小学校区
道路の拡張が一番望ましいと思いますが、なかなか難しいと考えます。	60～69歳	水城西小学校区
車線の増加。バス停のある車幅拡張。右折専用車線の設置。右折信号の設置。踏切と信号の連動。	50～59歳	水城小学校区
渋滞する場所は大体決まっている。それぞれに原因があると思う。歩行者が多い、右折車が多い、信号の連動が悪いなど、そこに合った対策が必要だと思う。	40～49歳	国分小学校区
天満宮周辺の交差点について、右折、左折専用信号の時間差。道幅がもう少し広がれば良いと思います。	40～49歳	水城西小学校区
<b>◆通行規制や道路利用ルールの変更など(34件)</b>		
一方通行による流れのスムーズ化。	70歳以上	太宰府小学校区
道路拡張が無理であれば、一方通行を増やすことも必要ではないかと思う。	60～69歳	太宰府南小学校区
期間を設定して、車両の通行を制限してほしい。住民にとって、土日の外出がしづらい。ゆめ畑から参道に向かう道も新車がぞくぞくオープンし、観光客も増え、歩行者天国の時間を設ける方がいいのではないかと。	40～49歳	太宰府小学校区
太宰府天満宮を囲む道路側の民家が、駐車場街と化しています。もっと前に規制の方法はなかったのでしょうか。太宰府校区の生活道路です。	70歳以上	太宰府小学校区
渋滞は天満宮、市役所、龜門神社以外でもいろいろあります。できる所から時間差で上り下りで幅を変えられたら良いと思います。	60～69歳	水城西小学校区
特に年末年始、年始明け後の1月2週目あたりの渋滞の規制の見直し。坂本・観世音寺・幸府住民(近辺)への通行許可証の発行等、案内等をお願いします。	40～49歳	水城小学校区
<b>◆その他(68件)</b>		
自分の通勤経路の渋滞の原因が隣市のJRの踏切が大きな要因なので、そこまで含めて考えることが必要だと思う。	40～49歳	太宰府西小学校区
自転車レンタルの充実。旅行会社とタイアップして、政庁跡～天満宮サイクリングイベント(景品つき)。	40～49歳	太宰府西小学校区
渋滞が発生しそうな日はあらかじめわかると思う。システムを切り替えるように、問題ない時と混みそうな時で切り替えられるようなシステムがほしい。	50～59歳	国分小学校区
渋滞はありますが、確実に人口が減少することを考えると車も10年後には減ってくるので、いちいち大きな投資はしなくていい。交差点の改良やAIを使った信号など、新しい技術でお金をかけずに工夫してほしい。	40～49歳	太宰府小学校区
交通渋滞がある日はほぼ予測できるので、事前に対策を取る。	70歳以上	水城小学校区
住民の不满に対する渋滞の緩和(土日祝、その他受験シーズン)に警備員を活用してほしい。道路をどうにかする等は限りがある。	50～59歳	太宰府南小学校区
観光地に自転車置き場などをつくり、もっと周知してほしい。電動自転車補助金などがあれば良いと思います。	30～39歳	国分小学校区



Ⅳ 歴史と文化の環境税について

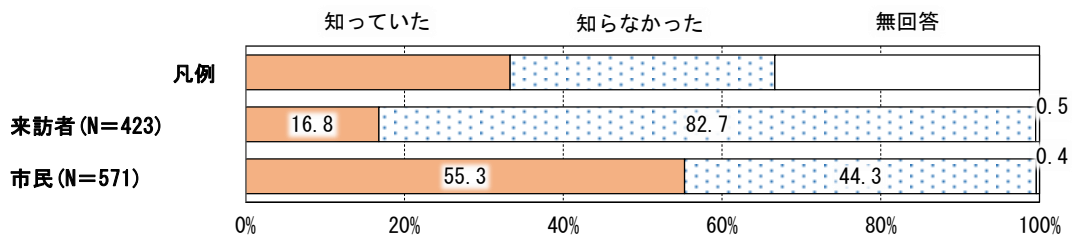
1. 歴史と文化の環境税の認知状況

◆太宰府市では、歴史的文化遺産の保全整備、観光施策及び環境保全のための財源の確保として、一時有料駐車場を利用する人に対して、平成15年から法定外税（太宰府市独自の税）である「歴史と文化の環境税」を導入しています。あなたは、この税金のことを知っていましたか。  
（来訪者：問5、市民：問3）

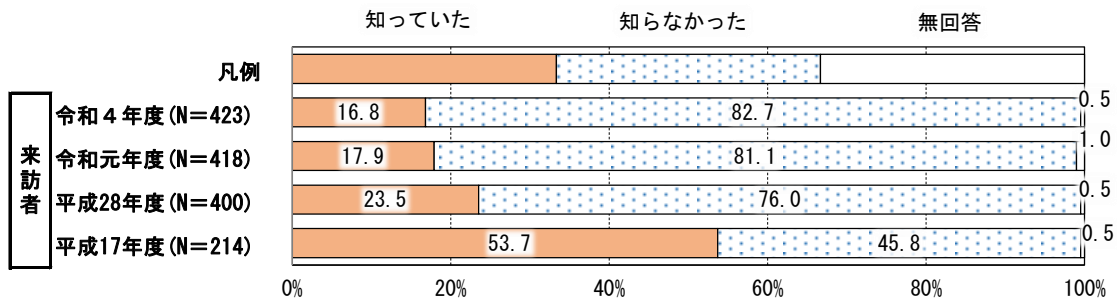
歴史と文化の環境税の認知状況についてみると、「知っていた」は来訪者が16.8%、市民が55.3%となっている。

前回調査結果と比較すると、「知っていた」は来訪者で1.1ポイント減少しているが、市民では5.0ポイント増加している。

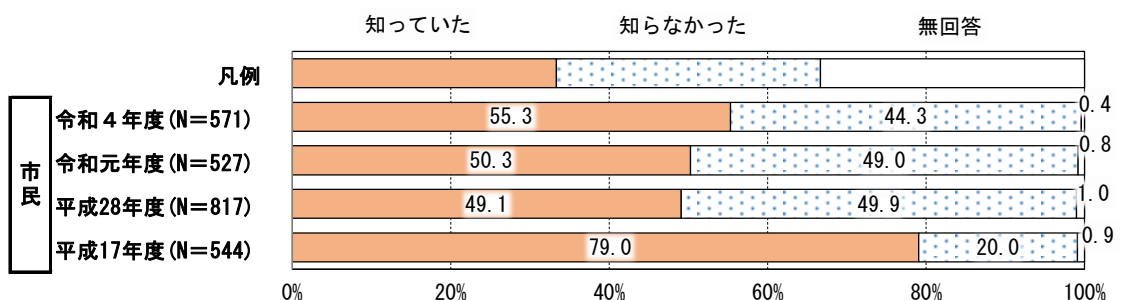
歴史と文化の環境税の認知状況（来訪者・市民）



歴史と文化の環境税の認知状況（来訪者時系列比較）



歴史と文化の環境税の認知状況（市民時系列比較）



2. 歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況

◆あなたは、この税が上記のような「まちづくり」に使われていることを知っていましたか。

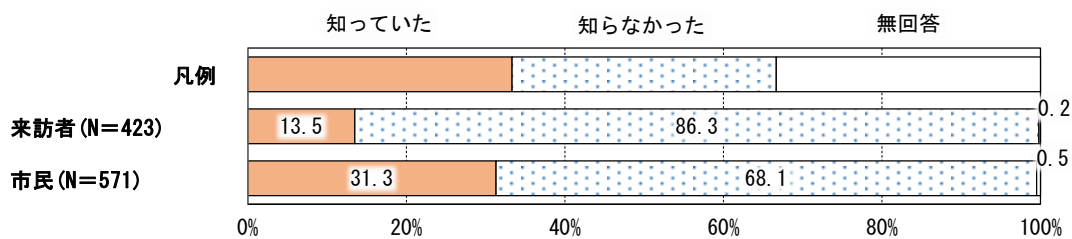
(来訪者：問6、市民：問4、駐車場事業者：問1)

歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況についてみると、「知っていた」は来訪者が13.5%、市民が31.3%となっている。また、駐車場事業者は「知っていた」が39件中34件となっており、「知らなかった」が同5件となっている。

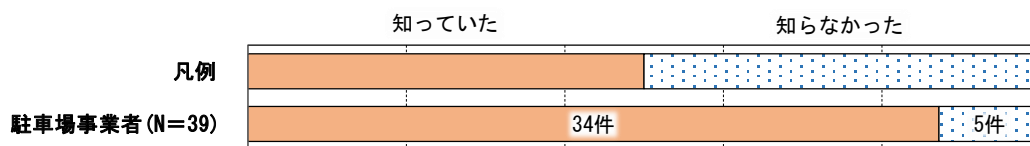
前回調査結果と比較すると、「知っていた」は来訪者で2.5ポイント減少しているが、市民では3.0ポイント増加している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

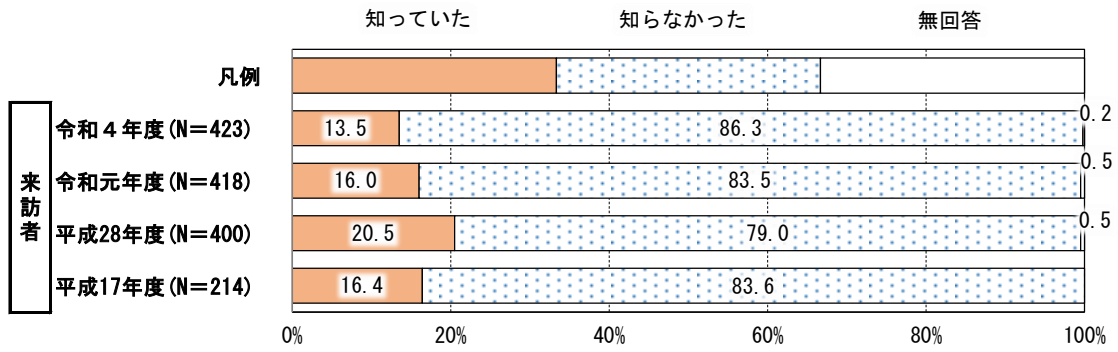
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（来訪者・市民）



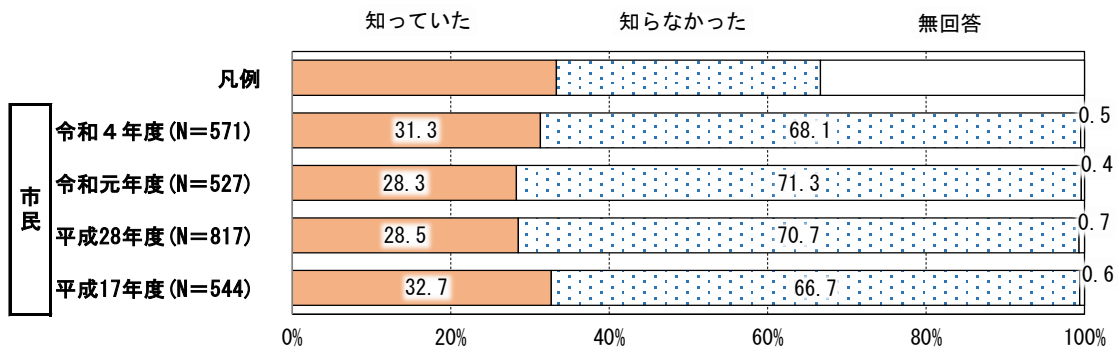
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（駐車場事業者）



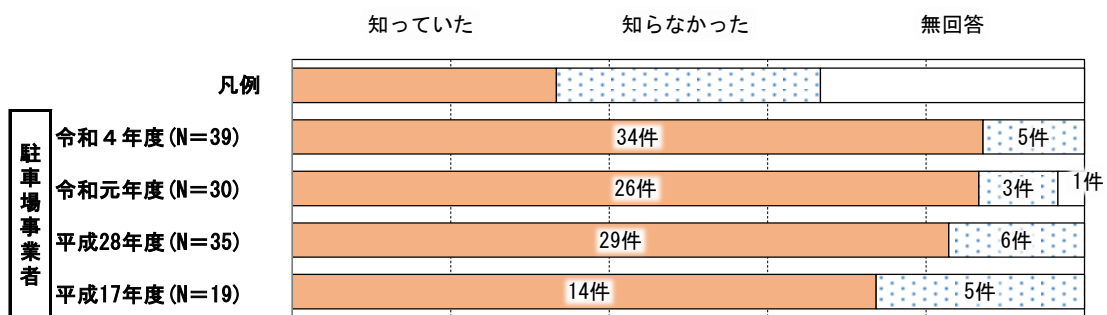
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（来訪者時系列比較）



歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（市民時系列比較）



歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（駐車場事業者時系列比較）



### 3. 歴史と文化の環境税の使いみちの評価

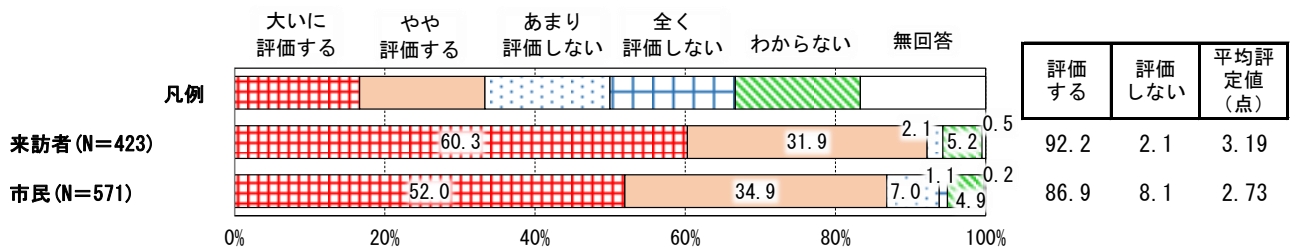
#### (1) 歴史的文化遺産の保存活用

◆あなたは、この税が「歴史的文化遺産の保存活用」に使われていることについて、どのように思いますか。(来訪者：問7、市民：問5、駐車場事業者：問2)

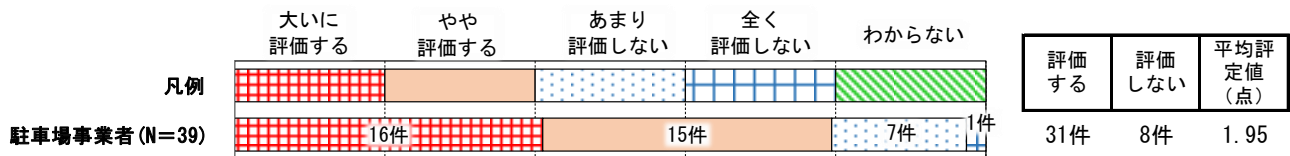
歴史と文化の環境税の使いみちで「歴史的文化遺産の保存活用」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が92.2%、市民が86.9%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が39件中31件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同8件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

歴史的文化遺産の保存活用（来訪者・市民）



歴史的文化遺産の保存活用（駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

#### 《参考》 歴史的文化遺産の保存活用 [令和元年度結果]

	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者 (%)	418	66.5	24.9	2.4	0.5	5.0	0.7	91.4	2.9
市民 (%)	527	43.8	42.1	6.8	0.8	6.5	-	85.9	7.6
駐車場事業者 (件数)	30	9	14	4	1	2	-	23	5

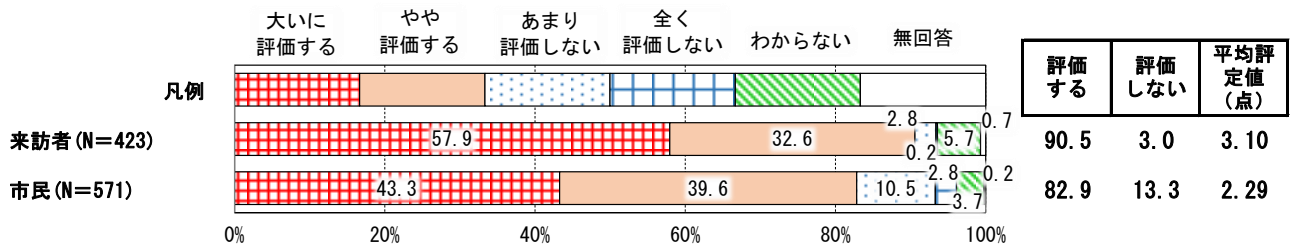
(2) 来訪者へのおもてなし

◆あなたは、この税が「来訪者へのおもてなし」に使われていることについて、どのように思いますか。(来訪者：問8、市民：問6、駐車場事業者：問3)

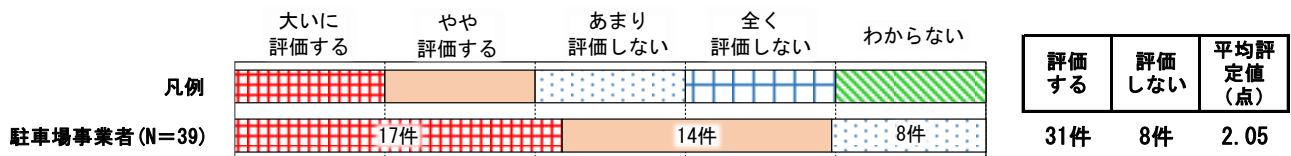
歴史と文化の環境税の使いみちで「来訪者へのおもてなし」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が90.5%、市民が82.9%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が39件中31件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同8件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

来訪者へのおもてなし（来訪者・市民）



来訪者へのおもてなし（駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

《参考》 来訪者へのおもてなし [令和元年度結果]

	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者 (%)	418	61.7	28.5	3.1	0.2	5.5	1.0	90.2	3.3
市民 (%)	527	37.2	46.1	10.2	1.9	4.4	0.2	83.3	12.1
駐車場事業者 (件数)	30	9	14	3	1	3	-	23	4

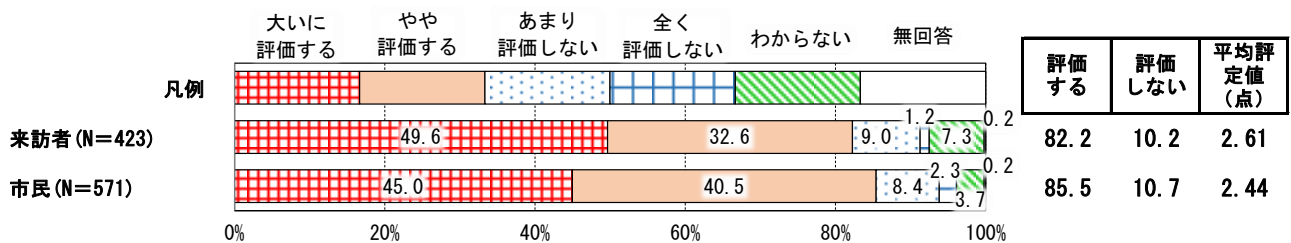
(3) 環境負荷改善（交通渋滞緩和）

◆あなたは、この税が「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」に使われていることについて、どのように思いますか。（来訪者：問9、市民：問7、駐車場事業者：問4）

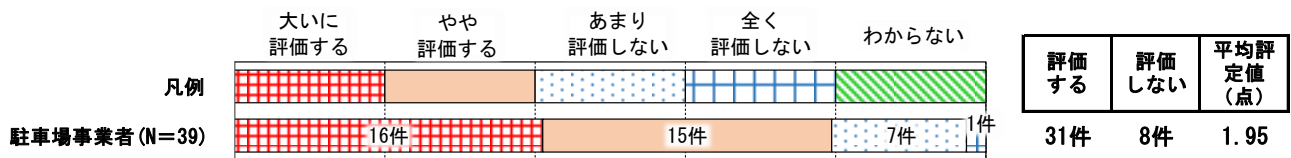
歴史と文化の環境税の使いみちで「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が82.2%、市民が85.5%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が39件中31件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同8件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

環境負荷改善（交通渋滞緩和）（来訪者・市民）



環境負荷改善（交通渋滞緩和）（駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

《参考》 環境負荷改善（交通渋滞緩和）[令和元年度結果]

	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者 (%)	418	62.0	26.8	4.1	0.7	5.0	1.4	88.8	4.8
市民 (%)	527	41.2	39.8	10.6	3.0	5.3	-	81.0	13.6
駐車場事業者 (件数)	30	6	13	4	3	4	-	19	7

4. 来訪者に財源を求める取り組みへの評価

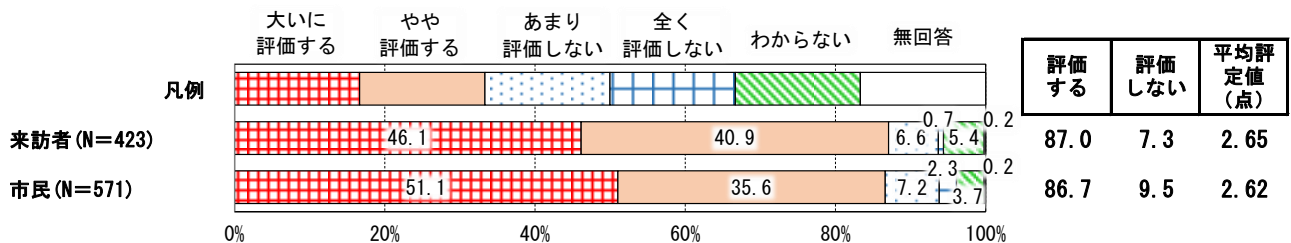
◆あなたは、「来訪者」にも税を課し、まちづくりの財源として活用するこの取り組みをどのように思いますか。(来訪者：問10、市民：問8、駐車場事業者：問5)

来訪者に財源を求める取り組みへの評価についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が87.0%、市民が86.7%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は、「評価する」（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が39件中21件となっており、「評価しない」（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同16件となっている。

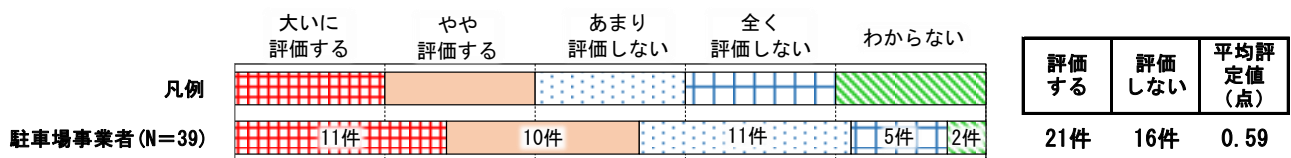
前回調査結果と比較すると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者で0.3ポイント減少しているが、市民では2.4ポイント増加している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

来訪者に財源を求める取り組みへの評価（来訪者：市民）

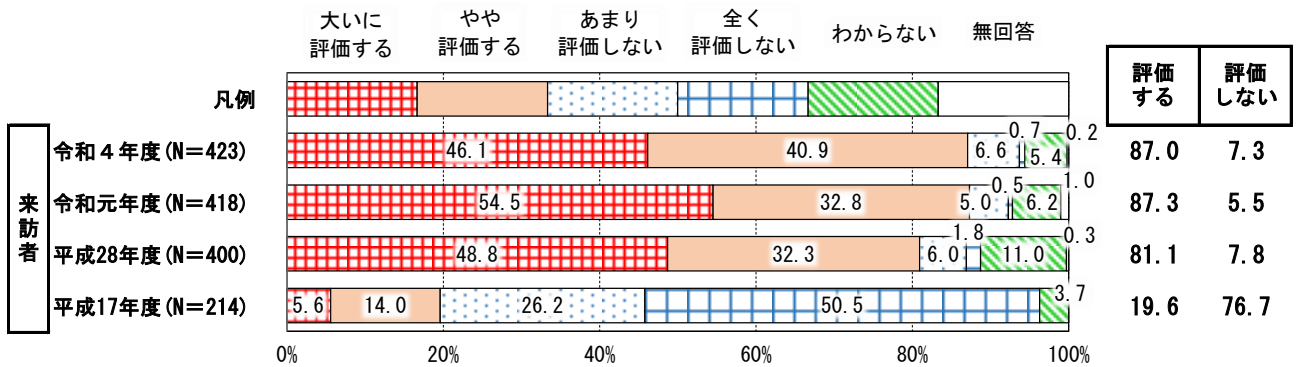


来訪者に財源を求める取り組みへの評価（駐車場事業者）

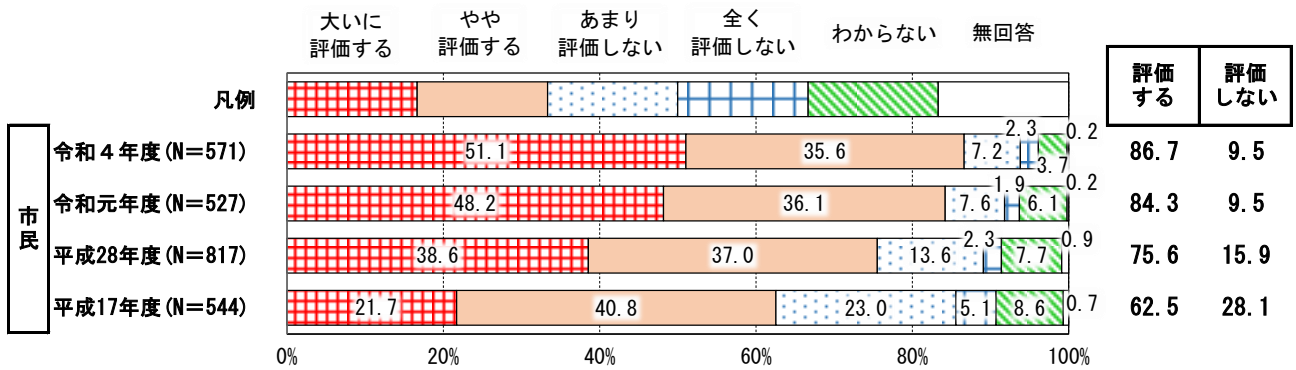


※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

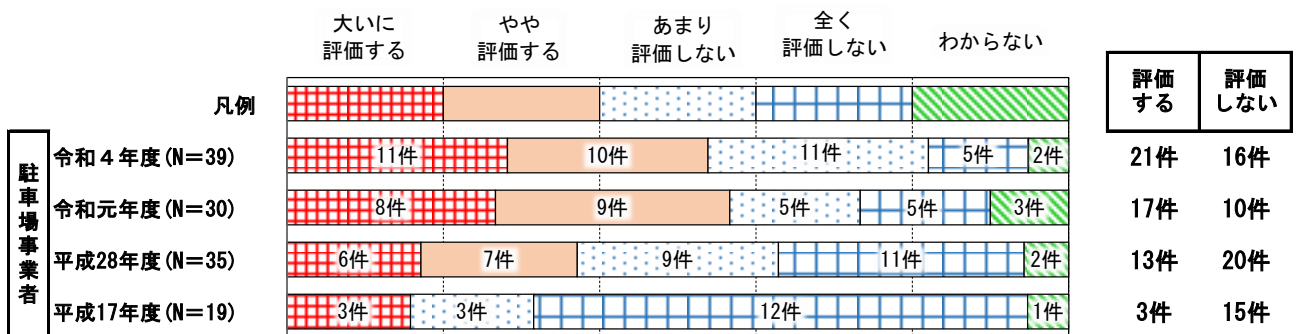
来訪者に財源を求める取り組みへの評価（来訪者時系列比較）



来訪者に財源を求める取り組みへの評価（市民時系列比較）



来訪者に財源を求める取り組みへの評価（駐車場事業者時系列比較）





## 5. 歴史と文化の環境税の今後のあり方

### (1) 今後の継続意向

◆この税制度は、3年ごとに見直しも含めた協議を行っています。この税を今後どうするべきか、あなたはどのように思いますか。(来訪者：問11、市民：問9、駐車場事業者：問7)

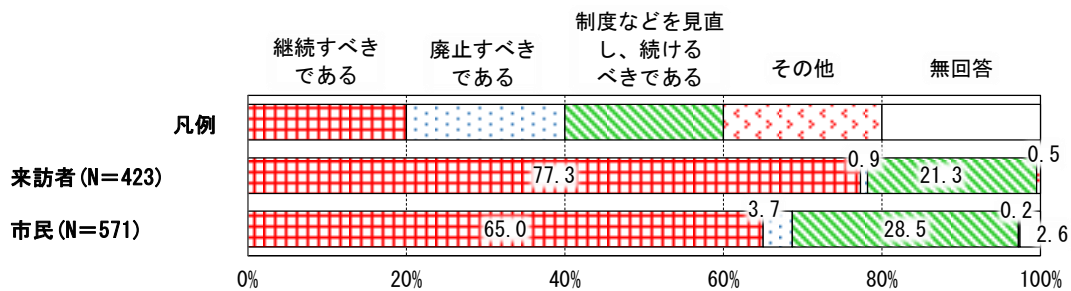
歴史と文化の環境税の今後の継続意向についてみると、「継続すべきである」は来訪者が77.3%、市民が65.0%で最も高く、次いで「制度などを見直し、続けるべきである」が、来訪者21.3%、市民28.5%の順となっており、「廃止すべきである」は来訪者が0.9%、市民が3.7%となっている。『続けるべき』（「継続すべきである」と「制度などを見直し、続けるべきである」の合計）は、来訪者が98.6%、市民が93.5%という結果となった。

また、駐車場事業者は、「廃止すべきである」が39件中15件、「制度などを見直し、続けるべきである」が同13件、「継続すべきである」が同11件の順となっている。『続けるべき』（「継続すべきである」と「制度などを見直し、続けるべきである」の合計）は、39件中24件という結果になった。

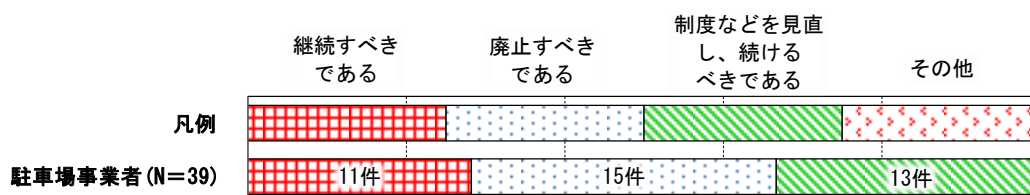
前回調査結果と比較すると、「継続すべきである」は来訪者で5.5ポイント増加しているが、「制度などを見直し、続けるべきである」は3.8ポイント減少している。一方、市民では「継続すべきである」は0.7ポイント減少しているが、「制度などを見直し、続けるべきである」は0.8ポイント増加している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

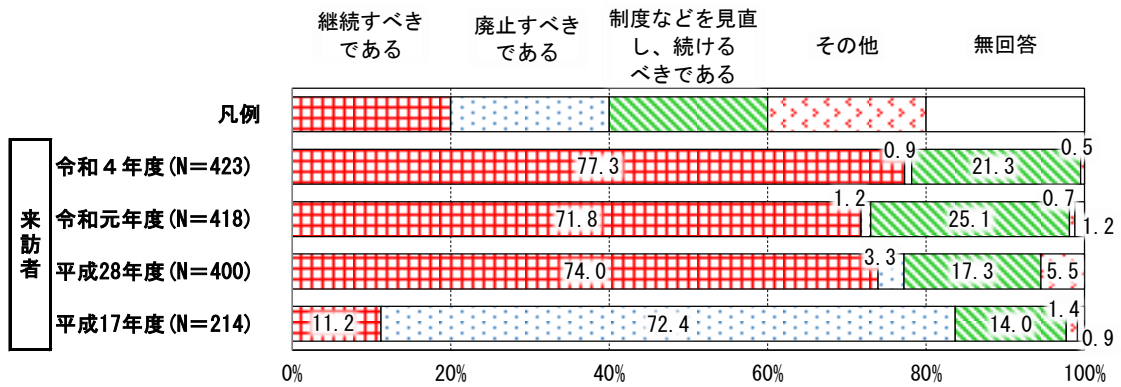
今後の継続意向（来訪者・市民）



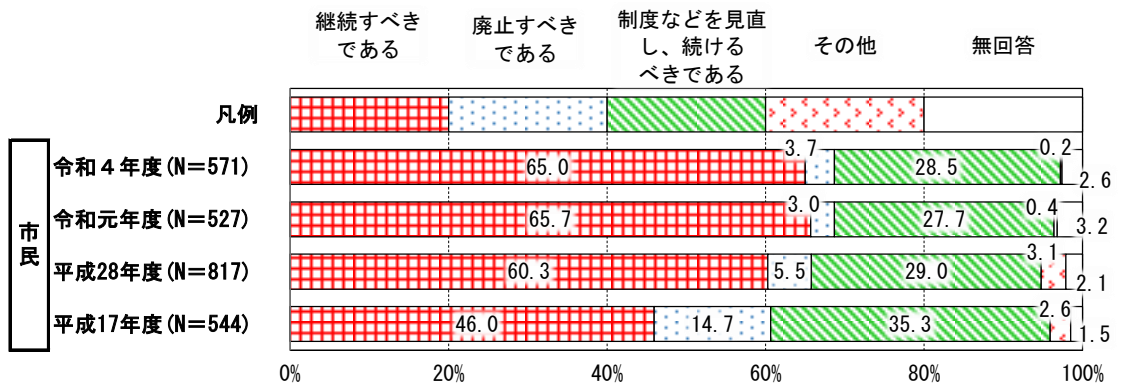
今後の継続意向（駐車場事業者）



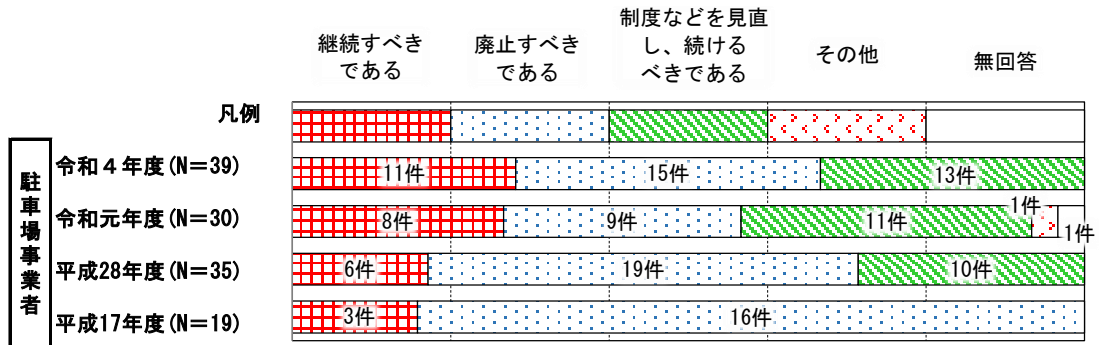
今後の継続意向（来訪者時系列比較）



今後の継続意向（市民時系列比較）



今後の継続意向（駐車場事業者時系列比較）



(2) 歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価

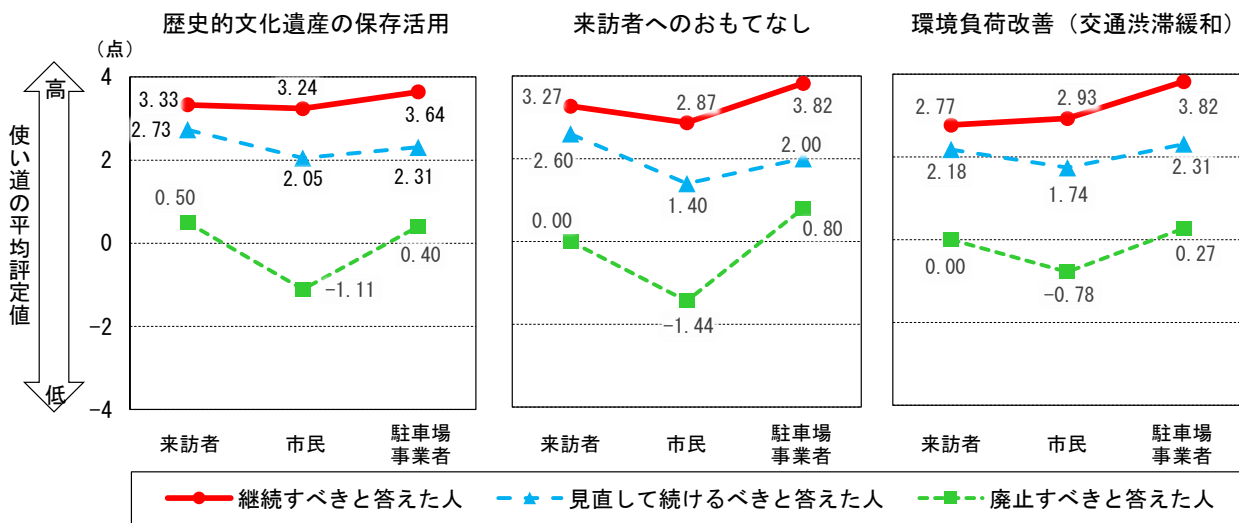
「歴史と文化の環境税を今後どのようにしていくか」の考え方と調査対象者別に、税の使い道の評価を得点化した。

環境税を「継続すべき」と回答した人は、すべてにおいて使い道の評価はプラスとなっている。対象者別にみると、すべての使い道で駐車場事業者の評価が来訪者と市民より高くなっている。

環境税を「廃止すべき」と回答した人は、来訪者と市民の使い道の評価は、来訪者の「歴史的文化遺産の保存活用」を除き、マイナスもしくは0となっている。駐車場事業者は、すべての使い道でプラス評価となっている。対象者別にみると、「来訪者へのおもてなし」と「環境負荷改善（交通渋滞緩和）」は駐車場事業者が、「歴史的文化遺産の保存活用」は来訪者が最も高くなっている。

環境税を「見直して続けるべき」と回答した人は、すべてにおいて使いみちの評価はプラスとなっている。対象者別にみると、「歴史的文化遺産の保存活用」と「来訪者へのおもてなし」は来訪者が、「環境負荷改善（交通渋滞緩和）」は駐車場事業者が最も高くなっている。

歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価（来訪者・市民・駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

(3) 継続すべき理由

◆「継続すべきである」と回答された方

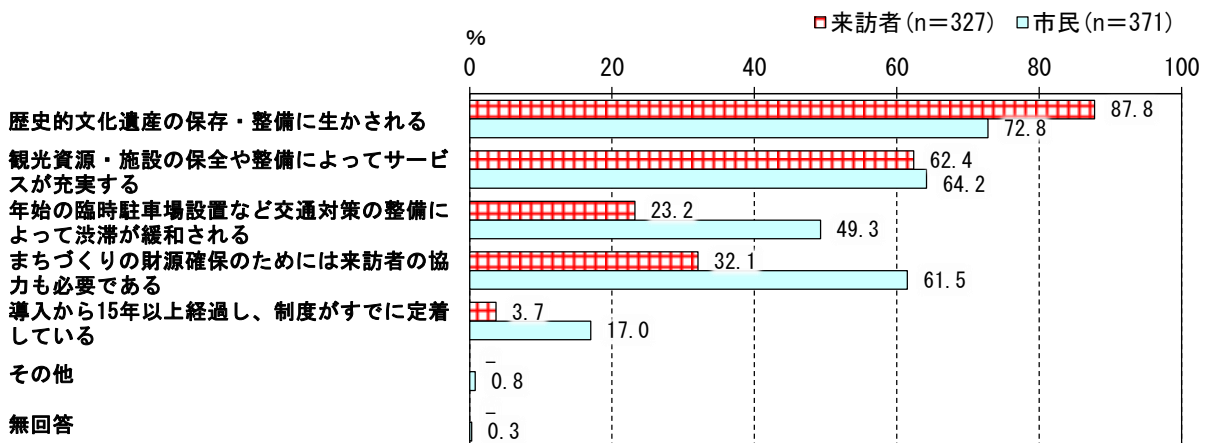
あなたが、この税を今後も継続するべきだと思う理由は何ですか。

(来訪者：問 12、市民：問 10、駐車場事業者：問 8)

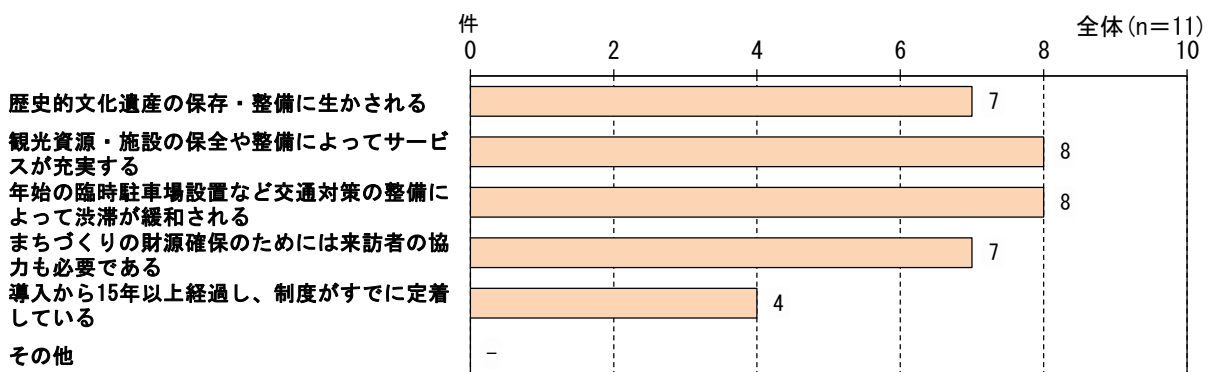
歴史と文化の環境税を継続すべき理由についてみると、来訪者、市民共に「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」(来訪者 87.8%、市民 72.8%) が最も高くなっており、次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」(来訪者 62.4%、市民 64.2%)、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」(来訪者 32.1%、市民 61.5%) の順となっている。また、駐車場事業者は、「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」と「年始の臨時駐車場設置など交通対策の整備によって渋滞が緩和される」(共に 11 件中 8 件) が最も多くなっており、次いで「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」(共に同 7 件) の順となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

継続すべき理由 [複数回答](来訪者・市民)



継続すべき理由 [複数回答](駐車場事業者)



(4) 廃止すべき理由

◆「廃止すべきである」と回答された方

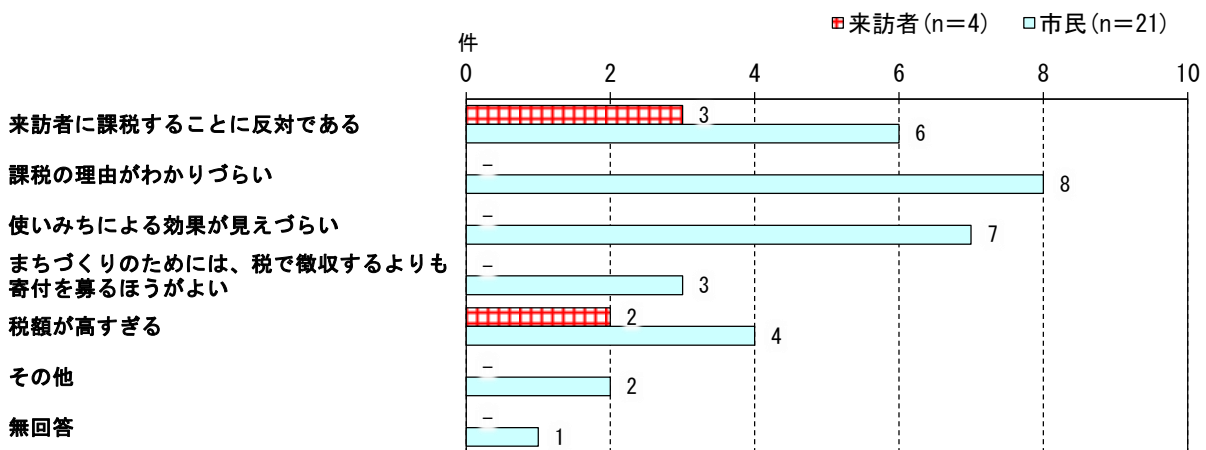
あなたが、この税を今後は廃止すべきであると思う理由は何ですか。

(来訪者：問13、市民：問11、駐車場事業者：問9)

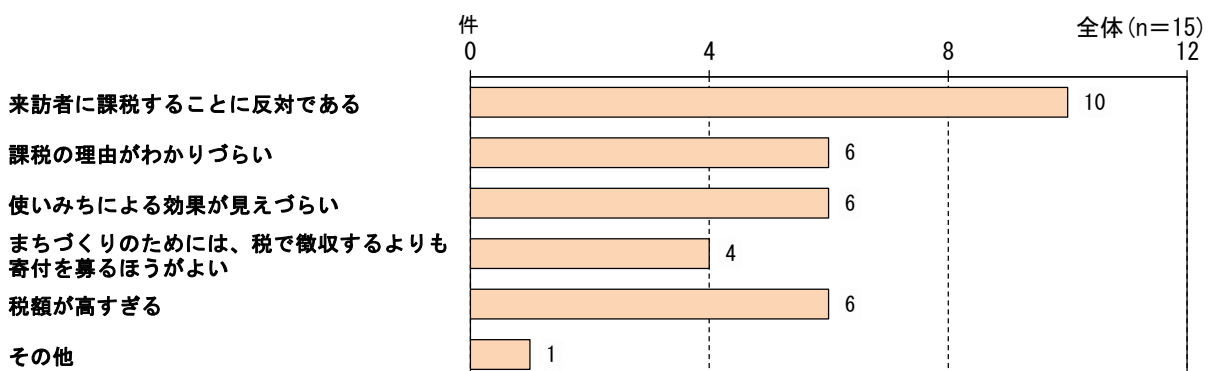
歴史と文化の環境税を廃止すべき理由についてみると、来訪者は「来訪者に課税することに反対である」(4件中3件)が最も多く、次いで「税額が高すぎる」(同2件)の順となっている。市民は「課税の理由がわかりづらい」(21件中8件)が最も多く、次いで「使いみちによる効果が見えづらい」(同7件)の順となっている。また、駐車場事業者は、「来訪者に課税することに反対である」(15件中10件)が最も多くなっている。

※いずれもサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

廃止すべき理由 [複数回答] (来訪者・市民)



廃止すべき理由 [複数回答] (駐車場事業者)



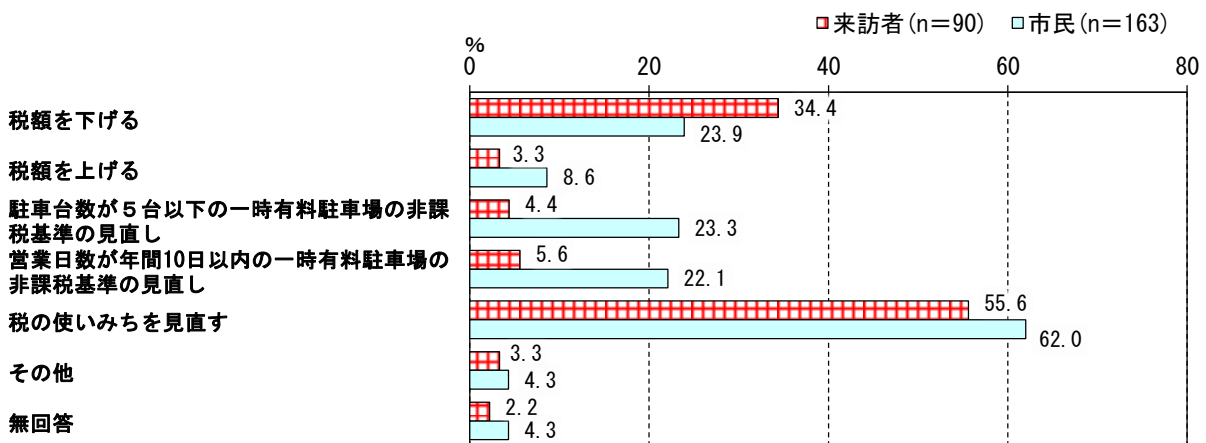
(5) 見直すべき内容

◆「制度などを見直し、続けるべきである」と回答された方  
 あなたは、どのような見直しが必要だと思いますか。  
 (来訪者：問 14、市民：問 12、駐車場事業者：問 10)

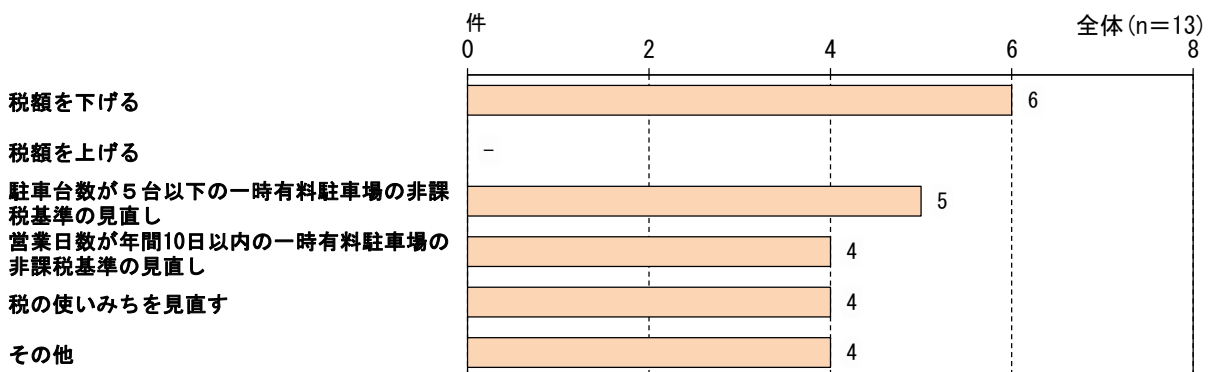
歴史と文化の環境税の見直すべき内容についてみると、来訪者、市民共に「税の使いみちを見直す」(来訪者 55.6%、市民 62.0%) が最も高く、次いで「税額を下げる」(来訪者 34.4%、市民 23.9%) の順となっている。また、駐車場事業者は「税額を下げる」(13 件中 6 件) が最も多く、次いで「駐車台数が 5 台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」(同 5 件) の順となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

見直すべき内容 [複数回答] (来訪者・市民)



見直すべき内容 [複数回答] (駐車場事業者)



## 6. 歴史と文化の環境税への意見

◆最後に、歴史と文化の環境税についてご意見などがありましたら、お聞かせください。

(来訪者：問 15、市民：問 13、駐車場事業者：問 11)

歴史と文化の環境税について、全体で来訪者から 250 件、市民から 294 件、駐車場事業者から 27 件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

## 来訪者（駐車場利用者）

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)	年齢	居住地
◆税の使い道について(130件)		
①文化遺産の保存と活用(70件)		
文化を大切に扱っていくことが素晴らしいと感心した。	29歳以下	九州以外の都道府県
歴史と文化のためなら、税は仕方がないと思う。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
税金を使って、歴史のある街を豊かにしてほしい。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
一般的に妥当な税額であるならば、大いに文化遺産等に使ってほしい。	60～69歳	九州以外の都道府県
文化財を守っていくためなので、良い制度だと思う。	40～49歳	九州以外の都道府県
まちづくりは県税・市税で他県はしている。しかし、守っていく遺産がある県、市は方法を考えて税を遺産保護のためにいかしてほしい。	40～49歳	九州以外の都道府県
②来訪者へのおもてなし(11件)		
タバコを吸える所を環境税で整備してほしい(ポイ捨てできないので)。	70歳以上	九州以外の都道府県
ゴミ箱は「歴史の街太宰府」にマッチした物にしたら良いと思う。逆に素晴らしい物にしてほしい。	30～39歳	九州(福岡県を除く)
③環境負荷の改善(24件)		
出て来る時間を早めなければならないので、とにかく渋滞をどうにかしてほしいと思う。	60～69歳	九州(福岡県を除く)
ベビーカーなので平日は良いけど、土日は人がいっぱいいて通りにくいので、歩道の拡大をしてほしい。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
道路が狭いので、もう少し拡大してほしい。	40～49歳	九州以外の都道府県
シャトルバス等を利用して、交通渋滞を緩和する。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
税を取るからには、渋滞の緩和に努力してほしい。	50～59歳	九州(福岡県を除く)
④使い道全般について(25件)		
整備されることに税を使うのは良いと思う。	30～39歳	九州(福岡県を除く)
税を徴収するなら、有意義に使ってほしい。	50～59歳	その他
使い道が不明瞭だ。市税・県税・国税でしても良いと思う。そして、明瞭にしてほしい。	30～39歳	太宰府市内
◆歴史と文化の環境税の制度について(74件)		
このまま維持してほしい。	70歳以上	九州(福岡県を除く)
新しい税金の仕組みで、他にはない魅力があった。	29歳以下	その他
見直しつつ、税額を上げても仕方がないと思う。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
有意義に使ってもらえるなら、環境税がかかっても仕方がない。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
見る側も相応の負担を担うべき。	60～69歳	その他
来訪する側も税を徴収されることで、少しでも貢献できるのであればとても嬉しいことです。	50～59歳	九州以外の都道府県
◆制度の周知や理解促進(32件)		
税に使われている内訳がわかるようにしてもらいたい。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
環境税がかかっていること自体を知らなかった。	50～59歳	九州(福岡県を除く)
太宰府には時々来るけど、全く知らなかった。内容もわからなかった。もつと駐車場には大きく表示して、使い道を示してほしい。	29歳以下	福岡県内(太宰府市を除く)
間違いなく利用し、利用内容をわかりやすく知らせてほしい。	50～59歳	九州以外の都道府県
◆その他(14件)		
歴史の街だけあって、良い所でした。	29歳以下	九州以外の都道府県
いつも楽しませてもらっている場所です。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
とても環境が良い街です。	60～69歳	九州(福岡県を除く)

市民

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)	年齢	小学校区
◆税の使い道について(197件)		
①文化遺産の保存と活用(33件)		
この環境税が文化遺産の保存、活用と整備等にかされることは大いに賛成します。	60～69歳	太宰府小学校区
国内観光客及びインバウンド誘致に注力するのも良いが、人流の増加で地元の子どもの回遊エリアが少なくなっている。例えば、各小中学校の遠足目的地が都府楼跡から変わってしまったことで、地元民として太宰府の歴史や文化を知る機会が大幅に減ってしまった。	50～59歳	太宰府西小学校区
観光資源・歴史的な文化遺産主力の市なので、施設の保全や整備は市民のみの負担では大きいと思います。来訪者の皆さんにも今まで通り課税に協力してもらい、市内の観光資源の維持・保全にしっかりと活用して、また訪れたい太宰府市にする。	50～59歳	水城西小学校区
歴史的な文化遺産の保存活用への支出は理解できる。	30～39歳	水城西小学校区
文化遺産について来訪者に知ってもらえるのは嬉しい。	70歳以上	太宰府西小学校区
政庁跡など地域の人にも親しまれている場所だが、バリアフリーになり、もっと障害のある人や歩行状態の悪い人にも行きやすい場所になるといいと思う。	50～59歳	水城小学校区
②来訪者へのおもてなし(50件)		
ライトの設置(夜が暗すぎる)。	29歳以下	太宰府南小学校区
天満宮のトイレは使いやすく、数も多くなったが、参道を含め、梅ヶ枝餅を食べられるのにゴミ箱がほとんどない。一定の所に置いてほしい。また、管理もしてほしい。	70歳以上	太宰府南小学校区
来客者へのサービスとして、フードトラックは大いに展開してもらいたい。	70歳以上	太宰府西小学校区
電動自転車のレンタル制度を充実させてほしい。	70歳以上	太宰府東小学校区
フリーWi-Fiを利用しながら、実際に太宰府の観光に来た人が観光案内ガイドを見ながら、太宰府の街を回れるようにしてみようか。	50～59歳	水城小学校区
コスモスについてですが、水城跡と観世音寺、両方共毎年必ずやってほしいです。これは市民が楽しみにしていることでもあり、観光客にとっても嬉しいことだと思います。	40～49歳	太宰府小学校区
水城跡のコスモスなどの来訪者はとても多く、季節ごとに楽しめるような場所、またはイベントができること良い。お土産などを購入できる場所や道の駅などができると活気がある。	50～59歳	国分小学校区
③環境負荷の改善(60件)		
他の行政よりも財政に余裕があるので、逆に市民に対して現金ではなく違う形で還元していくことが重要であり、住み良い環境の整備という観点からも、交通渋滞の緩和(観光における)に関わる支出を中心にしてほしい。	30～39歳	太宰府東小学校区
太宰府市は基本的に1車線かつ道幅が狭い所が多いので、道幅を広くしてほしい。	29歳以下	国分小学校区
道路の拡張など、市民が住みやすく、安全な太宰府市とするように使ってほしい。	60～69歳	太宰府小学校区
道路脇の草刈りなどが間に合っていない時期があり、観光地として残念。ボランティアや周辺住民なども参加し、税金で整備する他にも手段を確保する仕組みづくりがあれば良いと思う。	50～59歳	太宰府小学校区
遠くから観光に来た知り合いが、「都府楼や観世音寺の駐車場が無料」と喜んでいました。環境税がこういうことに使われていることを初めて知りました。	60～69歳	水城小学校区
太宰府インターより天満宮までの雑草の刈り取り、ツツジの手入れなどに注視してほしい。年に3～4回は無理でしょうか。	70歳以上	国分小学校区
まちづくりの一環として、街灯を増やしてほしいと思います。	40～49歳	太宰府小学校区
④使い道全般について(54件)		
観光主要地域のみならず、住宅地や教育施設(通学路等)にも広げて環境整備事業に使えるよう、目的を十分に検討してほしい。	50～59歳	太宰府西小学校区
子どもが安全に楽しく遊べて、大人もゆったりできるような広々とした公園の設置。	29歳以下	国分小学校区
太宰府市に住んでいる人にとっては、歴史と共存できる過ごしやすいまちづくりに使ってもらえるのであれば賛成です。	40～49歳	国分小学校区
安全、防犯のためにもう少しライブカメラを設置してほしい。	70歳以上	太宰府南小学校区
整備もですけど、観光都市としての活性化にも使用してほしい。市役所前の通りなどはいろいろ改善の余地があると思います。	50～59歳	水城西小学校区
「歴史と文化の環境税」によって太宰府市の環境が整備され充実することで、再び太宰府市を訪れたい人が増えそうだと思います。	29歳以下	国分小学校区
◆歴史と文化の環境税の制度について(44件)		
太宰府市民に対しては減免や免除する仕組みは必須だと思う。その理由として、来訪者がメインターゲットになり、利用者になるため、市民から徴収するのは仕組みとして問題がある。	30～39歳	太宰府東小学校区
税額を上げて良いと思う。物価や資材の高騰で、インフラや設備等の維持費が増えていくのではないかと。	40～49歳	国分小学校区
来訪者の課税は認めるが、市民には無税にしてほしいです。	40～49歳	水城西小学校区



市民（つづき）

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)	年齢	小学校区
<b>◆歴史と文化の環境税の制度について(44件)</b>		
車による来訪者の増加によって、交通渋滞が著しい。税額を上げることによって、鉄道、バス等の公共交通の利用費との交通費格差を縮めることで公共利用を促進させ、渋滞緩和につながる。年末年始や秋季観光シーズンなどは特に税額を上げて良い。年始に税額を下げるなどは間違っている方策である。	70歳以上	太宰府西小学校区
適用期間を3年ごとに更新としたことは、大いに評価できる。	70歳以上	太宰府西小学校区
<b>◆制度の周知や理解促進(30件)</b>		
税の使われ方など、利用者の理解が得られるような冊子、パンフレットなども必要だと思います。	70歳以上	水城西小学校区
今回、当アンケートでこの制度を知りました。市民をはじめ、利用者等、幅広く制度について周知されるべきだと思います。	60～69歳	太宰府南小学校区
使い道がいまいちよく伝わらないので、もっと積極的にアピールしたら良いと思う。	50～59歳	国分小学校区
来訪者へのおもてなし(Wi-Fi整備、トイレ清掃に使っている)等、使い道を具体的に駐車場に明記すると、納得してもらいやすいと思います。	40～49歳	太宰府小学校区
<b>◆その他(23件)</b>		
企業や産業の誘致等にも尽力し、その他の税収増に努めたい。	60～69歳	太宰府南小学校区
歴史と文化ということにこだわりすぎない方が良いと思います。	60～69歳	水城西小学校区
歴史的建造物及び文化財については、税の他にクラウドファンディング、ふるさと納税等で幅広く募ることが肝要。そのため、市の発信力が不可欠だと考えます。	60～69歳	水城西小学校区
天満宮は税金を免れて恩恵を受けるだけ。天満宮のためだけに高い税金を支払い、子育て世代は出ていくばかり。おもてなしが過剰すぎることに疑問です。	30～39歳	国分小学校区
観光客が増加し、街が賑わうのが楽しい。以前(コロナ前)は太宰府天満宮に行くと、参道で中国語、韓国語が飛び交い、とても楽しかった。以前のような賑わいが戻ってくるのを願う。	70歳以上	太宰府西小学校区

駐車場事業者

問11 歴史と文化の環境税についてご意見などがありましたら、お聞かせください。	
<b>◆税の使い道について(11件)</b>	
<b>②来訪者へのおもてなし(4件)</b>	
門前町の美化とあるが、清掃は店の人が行っているようだが、税金をどこに使っているのかわからない。	
門前町美化、いつも有り難く思います。食べ歩き・飲み物のゴミは年々増えるばかりです。食べ歩きは情報誌にも載る観光商材ですが、ゴミ箱がないのですから、ゴミを出させない店側の努力をお願いしたいです。食べ歩き・歩きタバコが禁止になれば大変嬉しいです。	
<b>③環境負荷の改善(4件)</b>	
駐車場情報システムは使っている人がいるのか。利用状況を検証しているのか。	
環境が良くなれば多くの人々が集まり、私達の仕事も潤います。私達も理解しています。今以上に多くの人々が集まるよう、よろしく願い申します。	
<b>◆歴史と文化の環境税の制度について(12件)</b>	
継続していくのなら、駐車台数5台以下の駐車場も対象にすべきと思う。税の公平性が保たれないのであれば、廃止すべきであると思う。	
税の徴収は不信を招かないよう、施策の一つとして駐車スペース数で課税(観光施設周辺のみ)したらどうかと思います。職員の現地調査も、年1回くらいは行ったらどうか。課税は公平に行われますよう、大変とは思いますが努力してください。	
歴史と文化の環境税において、どの程度太宰府市の地域の活性化につながっているのか、比較データがほしい。現状は、駐車場事業者から税収する必要はない。	
当社は駐車場運営会社です。当社の駐車場を利用してもらったお客様より環境税を預かり、御市へ納付しています。駐車場利用のお客様のほとんどが観光なのですが、観光客がなぜ観光するその土地に税を納めなければならないのか不思議に思います。福岡県や御市の税で太宰府市のまちづくりは行えないのかと、納税の時期になると毎回思います。	
<b>◆制度の周知や理解促進(2件)</b>	
手集金をしている人達もいる中で、納税に対する公平性と透明性が非常にわかりにくいのが現状だと考えます。	
<b>◆その他(2件)</b>	
太宰府市は福岡観光の最大の名所のため、より観光客に喜ばれる場所となってほしい。	

7. 特別徴収事務について

◆「歴史と文化の環境税」の徴収事務（特別徴収）についてどのように思われますか。

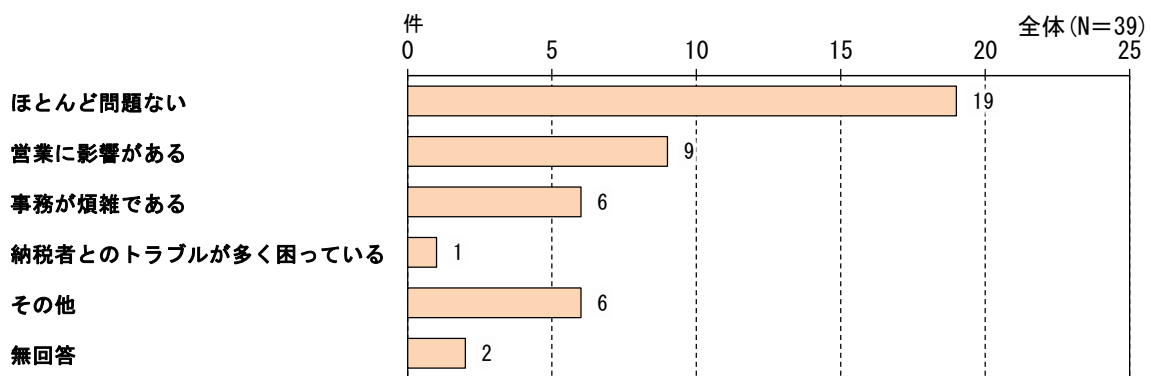
（駐車場事業者：問6）

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

駐車場事業者が「歴史と文化の環境税」の特別徴収事務（特別徴収）についてどのように思うかについてみると、「ほとんど問題ない」（39件中19件）が最も多くなっており、次いで「営業に影響がある」（同9件）の順となっている。

前回調査と比較すると、「ほとんど問題がない」が最も多い傾向は変わっていない。

特別徴収事務について [複数回答]



特別徴収事務について [複数回答] (時系列比較)

